283
47

0051295001

0051295-001

２８３－４７

広島高等学校一覧

広島高等学校

第１６－１９年度（昭和１４年４月至１５年３月－昭和１７年４月）

昭和１４－１７

AHM

284
47

廣島高等學校一覽

自昭和十四年四月
至昭和十五年三月

廣島高等學校一覽

第十六年度

（自昭和十四年四月
至昭和十五年三月）

目次

第一學年屬
第二沿革略
第三學則
第一章總則
第二章學科課程、教授時數
第三章學年、學期、休業
第四章入學、在學、轉科轉類
第五章進級、卒業
第六章休學、退學、轉學
第七章懲戒
第八章授業料
第九章制服
第十章寄宿寮

發行所寄贈本

五十昭和贈

第十一章 圖書、機械
第四細則
一 學則施行細則
第一章 生徒心得
第二章 入學、在學、轉科轉類、再入學
第三章 隨意科目、選擇科目
第四章 遲刻、缺課、缺席
第五章 成績考查
第六章 授業料、寄宿料
第七章 通學
第八章 服裝
第九章 學級總代
二 校務分掌規程
三 文書處理規程
四 文書保存規程
五 宿直勤務規程
六 物品會計規程細則
第一章 總則
第二章 保管及出納
第三章 檢閱
七 圖書閱覽室規則
八 受持教官規程
九 非常警備規程
第五職員
一 職員
二 學級主任
三 事務分掌
四 舊職員
第六生徒
一 生徒氏名
二 在學者本籍府縣別表
三 在學生徒並入學志願者入學者表
四 入學者學歷別表
五 生徒年齡別表

第七 卒業生 九五
一 卒業生氏名 九五
二 卒業生大學進級表 一四六
三 卒業生學科別人員表 一四九
第八 土地及建物 附 平面圖 一五一
第九 關係法令索引 一五三

附錄

一 廣島高等學校校友會會則 一
二 廣島高等學校同窓會規約 三
三 廣島高等學校寄宿寮總則 五
四 亦樂堂使用規則 八
五 校友會役員 九

學

年

曆

廣島高等學校一覽

第一學年曆

昭和十四年

四月十一日（火）入學式
十二日（水）始業式
十三日（木）第一學期授業開始
二十九日（土）天長節拜賀式
五月七日（日）水上運動會
七月九日（日）第一學期授業終了
九月六日（水）第二學期授業開始
二十四日（日）秋季皇靈祭
十月十日（火）本校創立記念日
十七日（火）神嘗祭
十月三十日（月）勅語奉讀式
十一月三日（金）明治節拜賀式

◎學年曆

◎學年曆

二十三日（木）新嘗祭

十二月二十五日（月）第二學期授業終了

昭和十五年

一月一日（月）新年拜賀式

八日（月）第三學期授業開始

二月十一日（日）紀元節拜賀式

三月二日（土）卒業生豫餞式

九日（土）第三學期授業終了

沿革略

283
47

第二沿革略

大正十二年

十二月十日　勅令第五百一號（文部省直轄諸學校官制改正）ヲ以テ本校ヲ設置セラレ同五百二號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人教授九人書記四人ト定メラル

十一日　第三高等學校教授十時彌本校々長ニ任セラル

十四日　事務所ヲ文部省内ニ置キ事務ヲ開始ス

大正十三年

一月十六日　事務所ヲ廣島市皆實町本校内ニ移ス

三十日　本校本館ノ新築成ル

三月卅一日　本校學則、學則施行細則及校務分掌規程ヲ制定ス

四月十二日　入學式ヲ擧行シ生徒二百人ヲ入學セシム

十四日　授業ヲ開始ス

二十日　本校別館、生徒控所ノ新築成ル

廿八日　勅令第九十八號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員定員ヲ校長一

◉沿革略

◉沿革略

五月一日　人教授十六人書記四人ト定メラル（效授七增）

三日　文書處理規程、文書保存規程、宿直勤務規程ヲ制定ス

七日　物品會計規程細則ヲ制定ス

卅一日　學則施行細則第八章第一條ノ一部ヲ改正ス

十二月四日　皇太子殿下御成婚奉祝式ヲ擧行ス

大正十四年

一月七日　寄宿寮ニ生徒七十七人ヲ收容ス

十六日　博物教室ノ新築成ル

三月廿三日　學則第四章第十三條第八章第一、二、八條ヲ改正之ニ伴ヒ學則施行細則第二章ニ四箇條ノ追加ヲナス

廿八日　生徒百八十四人ノ入學ヲ許可ス

四月十一日　入學式ヲ擧行ス

廿五日　勅令第百四十二號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員定員ヲ校長一人教授二十四人助教授一人書記五人ト定メラル（效授八、助教授一、書記一增）

五月十日　天皇　皇后兩陛下御結婚滿二十五年奉祝式ヲ擧行ス

八月十一日　物理教室ノ新築成ル

九月三十日　學則施行細則第八章第一條中ノ一部ヲ改正ス

十二月八日　圖書室ノ新築成ル

十二日　照宮成子內親王殿下御命名奉祝式ヲ擧行ス

大正十五年

一月十三日　銃器室ノ新築成ル

四月八日　生徒百七十八人ノ入學ヲ許可ス

是ニ於テ生徒總數五百五十五人トナリ全學級完成ス

十七日　入學式ヲ擧行ス

五月十三日　化學教室ノ新築成ル

廿六日　皇太子殿下本校ニ行啓アラセラレ文部省專門學務局長粟屋謙、學校長十時彌、教授大谷正信、堀江久勝ニ單獨拜謁ヲ賜ヒ學校長言上書並學校一覽ヲ奉呈ス更ニ教授下田卯市以下二十八名ニ對シ列立拜謁ヲ賜ヒ次テ運動場ニ成ラセラレ文、理科生徒對抗ノ蹴球競技ヲ台覽アラセラレ職員生徒一同ノ萬歲三唱裡ニ御機嫌麗ハシク還啓遊バサル

六月一日　圖書閱覽室規則ヲ制定ス

十日　故大勳位李王殿下國葬儀ニ付休業ス

七月五日　勅令第二百四十九號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員定員ヲ校

◉沿革略

長一人教授三十人助教授四人書記六人ト定メラル（教授六、助教授三、書記一增）

十月二十二日　長慶天皇御在位御親告ノ儀行ハセラル、ニ付休業ス

十二月廿五日　書庫ノ新築成ル

大正天皇崩御　皇太子殿下踐祚昭和ト改元セラル

昭和二年

一月七日　午前九時奉悼遙拜式ヲ擧行ス

柔劍道場ノ新築成ル

十日　午前九時朝見式ノ際群臣ニ賜リタル勅語ノ奉讀式ヲ擧行ス

十一日　雨天體操場ノ新築成ル

三十日　講堂ノ新築成ル

二月七日　大喪儀ニ付奉悼ノ爲休業ス

八日　午後十一時運動場ニ於テ遙拜式ヲ擧行ス

三月三日　大喪儀ニ付奉悼ノ爲休業ス

卒業生豫餞式ヲ擧行ス

四日　勅令第二十五號（休日ニ關スル件改正）ニ伴ヒ本校學則第三章第三條ヲ改正ス

十日　第一回卒業生百五十二人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

四月八日　生徒百九十四人ニ對シ入學ヲ許可ス

十六日　入學式ヲ擧行ス

八月十日　生徒集會所ノ新築成ル

三十日　溫室ノ新築成ル

十二月廿五日　御眞影奉安所ノ新築成ル

廿七日　勅令第三百六十五號（文部省直轄諸學校官制）ノ改正ニ伴ヒ勅令第三百六十六號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員定員ヲ校長一人教授三十人助教授四人書記六人助手一人ト定メラル（助手一增）

昭和三年

一月十二日　本校開校式ヲ擧行ス

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

十日　第二回卒業生百七十人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

廿一日　危險藥品庫ノ新築成ル

廿五日　生徒百八十九人ニ對シ入學ヲ許可ス

廿一日　學則第十章第三、四、六條及附則ヲ改正ス

四月十一日　入學式ヲ擧行ス

七月十四日　學則第四章第二、三、四、六、十四條及第六章第六條ノ八ヲ改正ス

十月十日　天皇　皇后兩陛下御眞影ヲ拜戴ス

◉沿革略

十二月　廿九日　本校創立記念式ヲ擧行ス
學則第三章第三條ヲ改正ス
勅令第二百五十六號（文部省直轄諸學校官制）ノ改正ニ伴ヒ勅令第二百五十七號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員定員ニ生徒主事及生徒主事補各一人ヲ加ヘラル

十一月十日　即位ノ大禮ヲ行ハセラレ校長十時彌賢所大前ノ儀、紫宸殿ノ儀、賢所御神樂ノ儀及大饗夜宴ノ儀ニ召サル

十四日　即位ノ禮拜賀式ヲ擧行ス

十五日　大嘗祭遙拜式ヲ擧行ス

十二月十日　大禮祝賀會ヲ擧行ス

昭和四年

三月　二日　教育ニ關スル御沙汰書ヲ下シ賜フ

十　日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

廿七日　第三回卒業生百八十九人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

三十日　生徒百九十一人ニ對シ入學ヲ許可ス

四月十一日　學則第八章第一、二、八條及附則ヲ改正ス
入學式ヲ擧行ス

十月　二日　神宮式年遷宮遙拜式ヲ擧行ス

十　日　本校創立記念式ヲ擧行ス

昭和五年

三月　三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

十　日　第四回卒業生百六十八人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

廿六日　生徒百九十一人ニ對シ入學ヲ許可ス

四月十一日　入學式ヲ擧行ス

五月　七日　受持教官規程ヲ制定ス

十月　九日　弓道場ノ寄附ヲ受ク

十　日　本校創立紀念式ヲ擧行ス

三十日　教育勅語渙發滿四十年記念式ヲ擧行ス

十一月十一日　亦樂堂ノ寄附ヲ受ク

昭和六年

二月　五日　天皇　皇后兩陛下御眞影ヲ拜戴ス

三月　三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

九　日　學則第四章第五條ヲ改正、之ニ伴ヒ學則施行細則第三章中改正削除ス

十　日　第五回卒業生百八十六人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

◉沿革略

◎沿革略

廿四日　生徒百九十一人ニ對シ入學ヲ許可ス
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス

昭和七年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス
十日　第六回卒業生百七十二人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿六日　生徒百七十五人ニ對シ入學ヲ許可ス
卅一日　本校々長十時彌第五高等學校長ニ任セラレ松本高等學校長新保寅次本校々長ニ任セラル

四月十一日　入學式ヲ擧行ス
八月九日　博物教室附屬消毒室ノ新築成ル
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス
十二月廿七日　勅令第三百九十五號（文部省直轄諸學校職員定員令改正）ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人、教授三十人、生徒主事一人、助教授三人、書記六人、生徒主事補一人ト定メラル

昭和八年

三月二日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

十日　第七回卒業生百七十七人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿五日　生徒百七十七人ニ對シ入學ヲ許可ス
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
十月十日　本校創立第十周年記念式ヲ擧行ス引續キ四日間記念行事ヲ開催ス
十一月十日　國民精神作興ニ關スル詔書渙發十周年記念式ヲ擧行ス
十二月廿三日　皇太子殿下御降誕祝賀式ヲ擧行ス

昭和九年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス
十日　第八回卒業生百八十四人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿八日　生徒百三十八人ニ對シ入學ヲ許可ス
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
六月廿六日　本校々長新保寅次休職被仰付督學官石井忠純本校々長事務取扱ニ任セラル
八月七日　休職校長新保寅次依願免官、校長事務取扱石井忠純校長事務取扱ヲ免セラル同時ニ新潟高等學校長岡上梁本校々長ニ任セラル
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス

昭和十年

三月二日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

◎沿革略

十　日　第九回卒業生百五十四人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿三日　自動車車庫ノ新築成ル
廿七日　生徒百四十五人ニ對シ入學ヲ許可ス
卅一日　學則第十章蚤一條及同施行細則第四章第一條並第五章第四條ヲ改正ス
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス
十一月一日　學則第四章第八條ヲ改正ス
十一月四日　非常警備規程ヲ制定ス

昭和十一年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス
十　日　第十回卒業生百五十四人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿八日　生徒百四十三人ニ對シ入學ヲ許可ス
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス
十二月十九日　本校々長岡上梁浦和高等學校長ニ任セラレ大分高等商業學校長添野信本校々長ニ任セラル

昭和十二年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス
十　日　第十一回卒業生百三十六人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿八日　生徒百四十七人ニ對シ入學ヲ許可ス
四月十二日　入學式ヲ擧行ス
九月十五日　プール及校友會各部用物置一棟竣功、其ノ寄附ヲ受ク
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス

昭和十三年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス
十　日　第十二回卒業生百二十五人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス
廿六日　生徒百三十九人ニ對シ入學ヲ許可ス
廿一日　學則第四章第五條ヲ改正、之ニ伴ヒ學則施行細則第三章ニ第五、六條ヲ加フ
四月十一日　入學式ヲ擧行ス
十月十日　本校創立記念式ヲ擧行ス

昭和十四年

三月三日　卒業生豫餞式ヲ擧行ス

十　日　第十三回卒業生百三十五人ニ對シ卒業證書ヲ授與ス

廿六日　生徒百九十六人ニ對シ入學ヲ許可ス

四月十一日　入學式ヲ擧行ス

五月廿二日　東京宮城前廣場ニ於テ陸軍現役將校學校配屬令公布十五年ニ際シ全國學生生徒代表ヲ御親閲アラセラレ本校ヨリ學校長、教官二名、配屬將校及生徒十名參列ノ光榮ニ浴ス

同時ニ本校ニ於テモ遙拜式ヲ擧行ス

學

則

第三學則

大正十三年三月三十一日制定

第一章　總則

第一條　本校ハ大正七年勅令第三百八十九號ニ基キ高等學校高等科ヲ置ク

第二條　本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章　學科課程、教授時數

第一條　本校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第二條　文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス

外國語ハ英語又ハ獨語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第三條　文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八
第二外國語	（四）	（四）	（四）
歷史	三	五	四
地理	二		
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學		二	二
體操	二	三	三
計	二九（三三）	二九（三三）	二八（三二）

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一一	一〇	一〇
第二外國語	（三）	（三）	（三）
計	三一（三四）	三一（三四）	三〇（三三）

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルヘシ

第四條　理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	
第一外國語	八	六	六
第二外國語	（四）	（四）	（四）
數學	四	四	四（二）

物理		三	講義三 實驗二 五
化學		三	講義三 實驗二 五
植物及動物	二	二	〔講義二 實驗二 四〕
鑛物及地質	二		
心理		二	
法制及經濟	二		
圖畫	二	二	〔二〕
體操	三	三	三
計	二八（三二）	二八（三二）	二八（三二）

第三學年ノ數學〔二〕及圖畫〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義二、實驗二〕トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシム

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	（三）	（三）	（三）
計	三〇（三三）	三一（三四）	三一（三四）

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルヘシ

第三章　學年、學期、休業

第一條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二條　學年ヲ分チテ三學期トス左ノ如シ

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三條　休業日ハ左ノ如シ

一日　曜日

一天長節　四月二十九日

一夏季休業　七月十五日ヨリ九月五日ニ至ル

一秋季皇靈祭　秋分日

一本校創立記念日　十月十日
一神嘗祭　十月十七日
一明治節　十一月三日
一新嘗祭　十一月二十三日
一冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
一紀元節　二月十一日
一春季休業　三月十一日ヨリ四月十日ニ至ル

第四章　入學、在學、轉科轉類

第一條　入學ノ期ハ學年ノ切トス

第二條　本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ品行方正ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ身體檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル者ニ限ル

一　中學校第四學年ヲ終了シタル者
二　他ノ高等學校尋常科ヲ卒業シタル者
三　高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
四　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
五　文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
六　文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

第三條　前條ノ入學志願者ノ數各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト選拔試驗ノ成績トヲ併セ考査シテ入學者ヲ定ム
前項ノ外必要ト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考査ヲ行フコトアルヘシ

第四條　前條ノ選拔試驗ハ中學校第四學年修了ノ程度ニ於テ之ヲ行フ該試驗ニ外國語ヲ課スル場合ハ英語又ハ獨語トシ志願者ハ隨意ニ其ノ一ヲ選フコトヲ得ルモノトス

第五條　入學志願者ハ入學後修業セントスル科及類ヲ指定シテ願出ツヘシ其ノ指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ

文科甲類　英語ヲ第一外國語トスル者
文科乙類　獨語ヲ第一外國語トスル者
理科甲類　英語ヲ第一外國語トスル者
理科乙類　獨語ヲ第一外國語トスル者

第六條　入學志願者ハ所定ノ手續ニ依リ名票、入學考査料、寫眞ヲ具ヘ本校ニ願出ツヘシ

第七條　入學考査料ハ金五圓トス
既納ノ入學考査料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス

第八條　學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以內ニ再入學ヲ志願シタルトキハ銓衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ學年ノ始ヨリ三十日以內ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マデニ入學料金參圓ヲ納付シ且戸籍謄本及履歷書ヲ差出スヘシ

前項ノ手續ヲ了セサル者ニ對シテハ其ノ入學ノ許可ヲ取消ス

既納ノ入學料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス

第十條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ父兄若ハ之ニ代ルヘキ者ヲ保證人トシ本校所定ノ保證書ヲ差出スヘシ

保證書ノ樣式ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　保證人ノ住所、印鑑等ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク屆出ツヘシ

第十二條　保證人死去若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ義務ヲ盡スコト能ハサルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ第十條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條　入學ノ後ニ於テ轉科、轉類ヲ出願シタルトキハ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ出願スル者ハ其ノ事由ヲ明記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

轉科、轉類ニ關スル規定ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第十四條　他學校ニ入學出願ヲ爲サントスル者ハ其ノ事由ヲ明記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第五章　進級、卒業

第一條　各學年ノ末ニ於テ生徒ノ學業成績、行狀、勤惰等ヲ考査シ合格ノ者ハ進級若ハ卒業セシメ不合格ノ者ハ原學年ニ留ム

第二條　學業成績ハ日當ノ課業、臨時試驗並學期試驗ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

臨時試驗ハ課業ノ進度ニ應シ敎官ノ見込ニ依リ之ヲ行フ

學期試驗ハ各學期ノ末ニ於テ之ヲ行フ

第三條　學業成績ノ考査ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第四條　原學年ニ留メタル者ニハ次學年ノ初ヨリ當該學年ノ全學科ヲ再修セシム

第五條　本校所定ノ課程ヲ履修シテ卒業シタル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證

族籍
何
某

年月日生

本校所定ノ文(理)科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

番　號

廣島高等學校長位勳學位爵氏名印

第六章　休學、退學、轉學

第一條　疾病又ハ已ムヲ得サル事由ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ニ對シテハ休學ヲ許可スルコトアルヘシ

休學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ爲ニ休學セントスルト

キハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二條　陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ若ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ間休學トス

第三條　休學ハ當該學年ニ限ル但シ前條ニ依ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本章第一條ニ依リ休學シタル者ハ次學年ノ始ヨリ課業ニ就クヘシ

本章第二條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後一箇月以內ニ於テ原學年ノ課業ニ就クヘシ

第五條　疾病其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

出ツヘシ但シ疾病ニ依リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ除名ス

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　二回引續キ同一學年ニ留マル者但シ本章第二條ニ依リ休學セル期間ヲ算入セス

四　引續キ一箇年以上缺席シタル者

五　正當ノ理由ナク又ハ屆出ヲ爲サスシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

六　出席常ナラサル者

七　一定ノ期間內ニ授業料及寄宿料ヲ納付セサル者

八　第四章第十四條ノ手續ヲ爲サスシテ他學校ニ入學出願シタル者

前項ノ各除名ニ關シテハ臨機ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第七條　他ノ學校ヘ又ハ他ノ學校ヨリノ轉學ハ之ヲ許サス

第七章　懲戒

第一條　校規風紀ヲ紊リ其ノ他生徒タルノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

第二條　懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學及放校トス

第八章　授業料

第一條　授業料ハ一學年金八拾圓トス

第二條　授業料ハ左ノ三期ニ分チテ之ヲ徵收ス

第一學期	四月	金貳拾五圓
第二學期	九月	金參拾圓
第三學期	一月	金貳拾五圓

授業料徵收期日ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第三條　既納ノ授業料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス

第四條　第四章第八條ニ依リ入學シタル者ノ授業料ハ其ノ學期分ヲ徵收ス

第五條　學期開始後退學スル者ノ授業料ハ其ノ學期分ヲ徵收ス

第六條　授業料ハ缺席、停學、休學等ノ爲ニ之ヲ免除スルコトナシ但シ第六章第二條ニ依リ休學シタル者ニ對シテハ授業料徵收期ノ前ニ在リテハ次月分ヨリ其ノ後ニアリテハ次學期分ヨリ之ヲ徵收セス

第七條　第六章第二條ニ依リ休學シタル者學期ノ中途ニ於テ課業ニ就キタルトキハ當該學期分ノ授業料ハ

其ノ月分ヨリ之ヲ徵收ス

第八條　本章第六條但書及第七條ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ金八圓トス但シ第一學期分授業料ノ月割ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス

第九條　第四條乃至第七條ノ授業料徵收期日ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第九章　制　服

第一條　生徒ハ本校所定ノ服裝ヲ爲スヘシ但シ新ニ入學シタル生徒ニ對シテハ入學ノ日ヨリ一定ノ期間制帽及靴ノ外ハ之ヲ猶豫ス

第十章　寄　宿　寮

第一條　新ニ入學シタル者ハ總テ寄宿寮ニ入ルヘキモノトス但シ特別ノ事情アル者ニ限リ詮議ノ上通學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項以外ノ生徒ニシテ入寮セントスル者ハ學校長ニ願出ツヘシ

第二條　寮生ハ規定ノ期日内ニ寄宿料ヲ本校ニ納付シ且食費ヲ支拂フヘシ

第三條　寄宿料ハ一學年金貳拾圓トス

第四條　寄宿料ハ左ノ三期ニ分チテ之ヲ徵收ス

第一學期分　金六　圓
第二學期分　金八　圓
第三學期分　金六　圓

寄宿料徵收期日ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第五條　既納ノ寄宿料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス

第六條　寄宿料徵收期日後ニ入寮スル者ノ寄宿料ハ其ノ月分ヨリ寄宿料徵收期日前ニ退寮スル者ノ寄宿料ハ其ノ月分ヲ徵收ス

前項ノ場合ニ於ケル寄宿料月割額ハ金貳圓トス但シ寄宿料ノ月割ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス

第一項ノ寄宿料徵收期日ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第七條　寮生ニシテ退寮セントスル者ハ其ノ事由ヲ明記シテ願出テ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　寮生ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ種類又ハ症狀ニ依リ外泊若ハ退寮セシムルコトアルヘシ

第九條　寮生ニシテ寮規ヲ紊ル行爲アリタルトキハ之ニ退寮ヲ命ス

第十一章　圖書、機械

第一條　本校所屬ノ圖書類ハ特別ノ規定ニ依ルモノヽ外總テ之ヲ文庫内ニ藏置ス

第二條　圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員、生徒及特ニ學校長ノ許可ヲ得タル者ニ限ル

第三條　本校職員ハ所定ノ手續ヲ了シ職務ニ必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ文庫外ニ携出スルコトヲ得但シ貴重圖書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ携出スルコトヲ得ス

第四條　教官室、特別教室又ハ事務室等ニ備付ヲ要スル圖書ハ當該學科主任、各課々長又ハ會計主任之ヲ借受ケ其ノ保管ノ責ニ任スル者トス

第五條　本校所屬ノ學術用標本、器具、機械ハ各所屬教室ニ之ヲ藏置ス

第六條　生徒ハ當該學科齊任敎官ノ許可ヲ得テ實習ノ爲圖書、標本、器具、機械ヲ使用スルコトヲ得

第七條　圖書、標本、器具、機械ヲ紛失、毀損又ハ汚染シタルトキハ其ノ損害ノ程度ニ依リ之ヲ辨償セシメ又ハ其ノ修理ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

附　則

本則ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（備　考）

大正十三年三月三十一日　（廣高專二號）制定許可

大正十四年三月二十三日　（廣高專三號）改正許可

昭和二年三月四日　（勅令第二〇號改正ニ伴フ）改定

昭和三年三月三十一日　（廣高專四號）改正許可

昭和三年七月十四日　（廣高事一〇號）改正許可

昭和三年十月十二日　（廣高專一二號）改正許可

昭和四年三月十九日　（專門學務局長通牒ニ依ル不要許可）改正

昭和六年三月九日　（發專一三號）改正許可

昭和九年十二月十八日　（廣高專一三號）改正許可

昭和十年十月十九日　（廣高專八號）改正許可

昭和十三年三月十五日　（廣高專二號）改正許可

轉科轉類及授業料
休業日
寄宿料
身體檢査及檢定料
休業日
授業料
選擇科目
寄宿寮
再入學
選擇科目

細

則

第一細則

一學則施行細則

大正十三年三月三十一日制定
改正（大正十三年五月、大正十四年三月、同年九月、昭和六年三月、昭和十年四月、昭和十三年三月、昭和十四年六月）

第一章　生徒心得

第一條　校ノ內外ヲ問ハス其ノ體面ヲ汚スカ如キ言行アルヘカラス

第二條　始業ノ號鐘ニ依リ直ニ定席ニ着キ教官ノ入室ヲ待ツヘシ教官入室スルトキハ起立シテ敬禮ヲ行フヘシ

退室ノ際モ亦同シ

第三條　教官定刻ニ至ルモ教室ニ臨場セサルトキハ教務課ニ問合セ其ノ指揮ヲ受クヘシ隨意ニ退散スルコトヲ得ス

第四條　教室ニ在リテハ授業中ハ勿論休憩中ト雖モ靜肅ヲ旨トシ喧噪ノ行爲アルヘカラス

第五條　教室內ニハ授業上ノ必要品及許サレタルモノヽ外ハ持込ムヘカラス

第六條　教官ノ許可ナクシテ恣ニ退出スルコトヲ得ス

第七條　校舍內ニ於テハ指定場所ノ外喫煙スヘカラス

第八條　登校ニ際シテハ必ス靴ヲ穿ツヘシ但シ特ニ生徒主事ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　建物又ハ器物ヲ毀損シ若ハ汚損シタル者ニ對シテハ之ヲ辨償セシメ情狀ニ依リテハ處分スルコト

◎細　則

アルヘシ

第十條　本校ノ示達ハ所定ノ場所ニ掲示シタル以上ハ一般ニ了知セラレタルモノト見做スニヨリ常ニ掲示場ニ注意スヘシ

第十一條　掲示ヲ爲サントスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受ケ必ス所定ノ場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十二條　集會ヲ爲サントスルトキハ其ノ代表者ヲ定メ集會ノ目的、種類、時日、場所（會費ヲ要スルトキハ其ノ金額）等ヲ具シ集會ノ前日マテニ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　集會ノ爲ニ教室ヲ借用セントスルトキハ教務課ノ許可ヲ受クヘシ其ノ他ノ場所ヲ使用セントスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十四條　校外ニ於ケル集會ハ風紀ヲ害シ多額ノ費用ヲ要スルノ虞ナキ場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

第十五條　集會ハ休業日又ハ放課後ニ於テ之ヲ開クヘシ

第十六條　一定ノ會ヲ組織セントスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ之ヲ解散シタルトキハ生徒主事ニ屆出ツヘシ

第十七條　別ニ規定ヲ設ケタルモノヽ外願屆書等ハ總テ學級主任ノ承認ヲ經ヘシ

第十八條　本校生徒ハ總テ本校々友會員タルヘキ義務アルモノトス

第二章　入學、在學、轉科轉類、再入學

第一條　學則第四章第十一條ニ依リ入學ノ許可ヲ得タル者ノ差出スヘキ保證書ノ樣式ハ左ノ通之ヲ定ム

參錢收入印紙

保　證　書

本籍及族稱
家族所在地
家族關係
氏　名
年　月　日　生

右之者今般入學ノ御許可ヲ得候ニ付テハ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ私ニ於テ引受クヘキコト保證候也

追テ向後私ノ宿所移轉或ハ印章相改候節ハ速ニ屆出ツヘク候也

年　月　日

本籍地
現住所
職業
生徒トノ續柄
保證人　氏　名　印
年　月　日　生

廣島高等學校長氏名殿

第二條　戸籍ニ異動ヲ生シタルトキハ戸籍謄本ヲ添ヘ遲滯ナク屆出ツヘシ

第三條　陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ若ハ召集ニ應シタルトキハ其ノ役名服役又ハ召集ノ期限及部隊又ハ艦艇名ヲ具シ遲滯ナク屆出ツヘシ

第四條　學則第四章第十三條ニ依ル轉科、轉類ハ同學年若ハ其ノ以下ノ學年ニ限ル
轉科、轉類セントスル者ハ二月末日マデニ願出ツヘシ
第五條　第一學年ニ轉科、轉類セントスル者ニハ入學選拔試驗ヲ受ケシム
第六條　第二學年以上ニ轉科、轉類セントスル者ニハ缺員アル場合ニ限リ左ノ方法ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ
一　從來ノ操行及學業成績ヲ參考シタル上檢定試驗ヲ課ス
二　檢定試驗ハ轉入セントスル科類ニ於ケル前學年以下ノ全學科目ニ付之ヲ課スルモノトス
但シ轉科、轉類セントスル者ノ既修シタル學科目ニシテ其ノ內容、程度及每週敎授時數ニ於テ同等以上ト認ムヘキ場合ハ當該學科目ニ限リ試驗ヲ課セサルコトヲ得
第七條　轉科、轉類ノ時期ハ學年ノ始トス
第八條　第一學年ニハ再入學ヲ許可セス
第九條　第二學年以上ニ再入學セントスル者ニハ缺員アル場合ニ限リ從來ノ操行及學業成績ヲ參考シ許可スルコトアルヘシ
尙前項以外ニ學科試驗ヲ課スルコトアルヘシ

第三章　隨意科目、選擇科目

第一條　入學ヲ許可セラレタル者ニシテ隨意科目ヲ履修セントスル者ハ指定ノ期日マテニ其ノ旨屆出ツヘシ
第二條　隨意科目ハ學年ノ中途ヨリ之ヲ履修スルコトヲ得
第三條　隨意科目ハ學年ノ中途ヨリ其ノ履修ヲ止ムルコトヲ得ス
次學年ヨリ隨意科目ノ履修ヲ止メントスル者ハ其ノ學年ノ終ニ於テ屆出ツヘシ
第四條　入學者選拔試驗ノ外國語ニ獨語ヲ選ヒタル入學者ニ對シテハ本校ノ都合ニ依リ第二外國語ヲ履修セシメサルコトアルヘシ
第五條　學則第二章第四條第二項ニ係ル學科目ノ選擇ハ第二學年ノ終ニ於テ之ヲ定ム
第六條　前條學科目ノ選擇ハ學年ノ中途ヨリ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第四章　遲刻、缺課、缺席

第一條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ因リ缺席、缺課又ハ遲刻シタル場合ハ其ノ當日ヨリ三日以內（休日ヲ除ク）ニ生徒課所定ノ屆用紙ニ記入シ生徒課ニ屆出ツヘシ
三日以上引續キ缺席シテ前項ノ手續ヲ爲ス能ハサルトキハ缺席ノ當初ヨリ三日以內ニ書面ヲ以テ其ノ由ヲ屆出ツヘシ但シ疾病ニ依リ缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
本條ニ係ル屆出ハ必ス學級主任ヲ經由スヘシ
第二條　左ノ事由ニ因リテ缺課缺席ヲ屆出テタル場合ハ之ヲ缺課缺席ノ數ニ算入セス
一　父母ノ喪ニ當リタルトキハ七日以內、祖父母兄弟姉妹ノ喪ニ當リタルトキハ五日以內、其ノ他ノ服忌ヲ受クル場合ハ三日以內
二　徵兵檢查ヲ受クル場合ハ其ノ當日ト本校ノ適當ナリト認ムル往復日數ヲ加ヘタル日數

第五章　成績考査

第一條　各學科目ノ成績ニ對シ評點ヲ附ス

評點ヲ分チテ學期評點及學年評點ノ二種トス

第二條　學期評點ハ學期毎ニ各學科目ニ就キ當該學期間ノ日常ノ課業、臨時試驗、學期試驗ノ成績及平素ノ勤惰等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三條　學年評點ハ各學期評點ノ和ヲ三ヲ以テ除シタルモノトス

第四條　各學科ノ評點科目數ハ左ノ通之ヲ定メ其ノ一科目ノ滿點ヲ百點トス

學年	第一學年				第二學年				第三學年			
學科目 ＼ 科類	文甲	文乙	理甲	理乙	文甲	文乙	理甲	理乙	文甲	文乙	理甲	理乙
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
第一外國語	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
第二外國語	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
歷史	二	二			二	二						
地理	二	二										
哲學概說												
心理及論理												
法制及經濟					一	一						
數學	一	一			二	二						
自然科學	一	一										
物理					二	二	二	二				
化學												
植物及動物												
鑛物及地質												
心理												
圖畫												
體操	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	一一(一二)	一一(一二)	一三(一四)	一三(一四)	一二(一三)	一二(一三)	一二(一三)	一二(一三)	一一(一二)	一一(一二)	一二(一三)	一二(一三)

第二外國語ヲ履修スル者ニ對シテハ他學科ト同一ニ取扱フモノトス

第五條　試驗ニ缺席シタル者ニハ零點ヲ附ス但シ其ノ缺席ノ事由正當ナル者ニ對シテハ左ノ規定ニ依ル

一　學期試驗ニ在リテハ平素ノ學業成績、行狀、勤惰等ヲ考査シ他ノ學期ノ評點ヲ參酌シテ認定點ヲ附與ス

◎綱　則

二　臨時試驗ニ在リテハ其ノ學期試驗ノ成績ヲ參酌シテ認定點ヲ附與ス

三　同一學期ノ學期試驗及臨時試驗ニ缺席シタル者ニハ他學期ノ學期評點ヲ參酌シテ認定點ヲ附與スルコトアルヘシ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ認定點ヲ附與セス

一　停學處分ヲ受ケタル爲ニ試驗ニ缺席シタル者

二　試驗ニ缺席シタル事由ヲ期日內ニ屆出テサル者

三　當該學期ニ於テ某科目ノ教授總時數ノ五分ノ三以上缺席シタル者

第七條　前條第三號ニ該當スル者ニシテ他ノ二學期ノ成績佳良ナル者ニ對シテハ詮議ノ上認定點ヲ附與スルコトアルヘシ

第八條　學年成績ノ平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ行狀、勤惰ヲ參酌シテ合格トシ進級又ハ卒業セシム

一　科目評點六十未滿ノモノナキ者

二　科目評點六十未滿ノモノ一科目アルモ其ノ評點四十以上ナル者

三　科目評點六十未滿ノモノ二科目アルモ其ノ評點一ハ五十以上他ハ四十以上ナル者

四　科目評點六十未滿ノモノ科目總數ノ三分ノ一以內アルモ何レモ其ノ評點五十以上ナル者

第九條　當該學年ニ於ケル缺課缺席ノ數夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス進級又ハ卒業セシメサルコトアルヘシ

第六章　授業料、寄宿料

第一條　授業料及寄宿料徵收期日ハ左ノ通之ヲ定ム

第一學期分　四月十六日ヨリ同月二十日迄

第二學期分　九月十六日ヨリ同月二十日迄

第三學期分　一月十六日ヨリ同月二十日迄

前項ノ期日中休業ニ當ル日アルトキハ順延ス

第二條　授業料及寄宿料ハ前條ノ徵收期日內ニ於テ所定ノ納付書用紙ニ所要事項ヲ記入シタルモノヲ添ヘ現金ヲ以テ會計課ニ納付スヘシ但シ病氣其ノ他已ムコトヲ得サル事故ニ依リ歸鄉シ又ハ他ノ地方ニ在ル者ハ郵便爲替ヲ以テ納付スルコトヲ得

第三條　本章第一條ノ徵收期ヲ過キテ入學又ハ入寮シタル者ハ入學又ハ入寮ノ日ヨリ七日以內ニ授業料又ハ寄宿料ヲ納付スヘシ

第四條　本章第一條及第三條ノ期限內ニ授業料又ハ寄宿料ヲ納付セサル者ニ對シテハ之ヲ納付スルマテ出席ヲ停止ス

第五條　本章第一條及第三條ノ期限滿了ノ翌日ヨリ二週間ヲ經過スルモ尙授業料又ハ寄宿料ヲ納付セサル者ハ學則第六章第六條第七號ニ依リ之ヲ除名ス

第七章　通　學

第一條　通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラス每學期ノ始ニ於テ所定ノ用紙ヲ以テ宿所ヲ生徒課ニ屆出ツヘシ

第二條　通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ三日以內ニ其ノ宿所ヲ屆出ツヘシ

◎綱　則

◎細　則

第三條　通學生徒ノ宿所ニシテ不適當ト認メタルトキハ宿所ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第八章　服　裝

第一條　本校生徒ノ服裝ハ左ノ通之ヲ定ム

一　制　帽

製　式　丸形

品　質　絨

色　黒

徽　章　、眞鍮製金色ニシテ三個ノ竹葉ニ高ノ字ヲ付シタルモノ

橫　章　白線（幅約二分五厘）二條

二　略　帽

製　式　普通形（緣約三寸高サ約三寸）

品　質　麥藁

鉢　卷　焦茶地（幅約一寸七分）ニ白線（幅約二分）二條（間隔約二分）

徽　章　制帽ニ同シ

三　服

（甲）冬　服

（一）上　衣

製　式　背廣形立襟

品　質　絨、サージ又ハ小倉

色　濃紺又ハ黒

襟　章　文科ハL、理科ハS（眞鍮製金色）ヲ左襟ニ附ス

釦　圓形ニシテ徽章ヲ表シタルモノ（眞鍮製金色）

（二）ズボン

製　式　普通

品　質　上衣ニ同シ

色　上衣ニ同シ

◎細　則

（乙）夏　服

（一）上　衣

製　式　多服ノ上衣ニ同シ

品　質　小倉

色　藍鼠霜降

釦　多服ノ上衣ニ同シ

襟　章　多服ノ上衣ニ同シ

（二）ズボン

製　式　多服ノズボンニ同シ

品　質　上衣ニ同シ

色　上衣ニ同シ

四　靴

製　式　短靴（編上及深護謨ヲ含ム）

品　質　革、ズツク又ハ護謨

色　黒

五　脚　絆

製　式　巻脚絆

品　質　絨又ハ木綿

色　茶褐

脚絆ハ特ニ指定シタル場合ニノミ之ヲ着用スルモノトス

第二條　左ノ場合ニ於テハ前條制定ノ服装ヲ爲スヘシ

一　儀式擧行ノ場合

二　授業ヲ受クル場合

三　本校ヨリ特ニ指定シタル場合

第三條　已ムヲ得サル事故ニ因リ制服ヲ着用スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ詳記シテ生徒課ニ届出テ略装許可ヲ受クルニ非サレハ授業ヲ受クルコトヲ得ス

第四條　外出ノ際ハ成ルヘク制服ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ着用スルトキハ必ス制帽ヲ被リ袴ヲ穿ツヘシ

第五條　多服着用期間ハ十月一日ヨリ翌年四月三十日マテ夏服着用期間ハ五月一日ヨリ九月三十日マテトス但シ時宜ニ依リ其ノ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六條　新ニ入學セル生徒ニ對シテハ其ノ年四月三十日マテハ和服着用ヲ許可ス

第七條　略帽ハ五月一日ヨリ九月三十日マテ之ヲ着用スルモノトス但シ將校マント（絨製濃紺色又ハ黒色）ノモノヲ用フヘシ

ハ必ス制帽ヲ着用スヘシ

第八條　外套ヲ着クル者ハ乘馬形（絨製濃紺色又ハ黒色）ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九章　學級總代

第一條　各學級ニ學級總代二名ヲ置ク、學級總代ハ其ノ學級ノ生徒ヲシテ互選セシメ學校長之ヲ命ス但シ第一學年ニ在リテハ此ノ規定ニ依ラサルコトアルヘシ

第二條　學級總代ハ當該學級主任ノ指揮ヲ受ケ其ノ學級ニ關スル一切ノ世話ヲ爲スモノトス

第三條　學級總代ノ任期ハ一學年間トス

第四條　學級總代ハ文科理科毎ニ其ノ科ノ最上級ノ學級總代中ヨリ代表者一名ヲ選擧シ之ヲ其ノ科總代トス

二　校務分掌規程

大正十三年三月三十一日制定

第一條　校務ヲ分チテ教務課、生徒課、庶務課、圖書課及會計課ノ五トス

第二條　教務課、生徒課、庶務課、圖書課ニ課長ヲ置キ會計課ニ主任ヲ置ク

第三條　課長ハ教授中ヨリ主任ハ會計課員中ヨリ學校長之ヲ命ス

教務課長ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務ヲ掌理ス

生徒課長ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ訓育ニ關スルコトヲ掌理ス

庶務課長ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

圖書課長ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ圖書ニ關スル事務ヲ掌理ス

會計課主任ハ學校長ノ命ヲ承ケ會計ニ關スル事務ヲ掌ル

第四條　一學科又ハ數學科ヲ合セタルモノニ學科主任ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

學科主任ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ當該學科ノ授業ニ關スル事ヲ掌ル其ノ擔任スヘキ事項左ノ如シ

一　當該學科教授ノ統一改善ヲ圖ルコト

二　當該學科ノ教科用書ニ關シ提案スルコト

三　當該學科ノ授業分擔ニ關シ提案スルコト

四　當該學科ノ特別教室ニ關スルコト

五　其ノ他當該學科ニ關スル事項

第五條　各學級ニ學級主任ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

學級主任ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ當該學級ノ生徒ノ監督指導ノ任ニ當ル其ノ擔任スヘキ事項左ノ如シ

一　當該學級ノ生徒ノ勤惰及行狀ニ關スルコト

二　當該學級ノ生徒ノ試驗成績ニ關スルコト

三　當該學級ノ生徒ノ訓育ニ關スルコト

四　當該學級ノ教室ノ整理ニ關スルコト

五　其ノ他當該學級ニ關スル事項

第六條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　學科課程教科書及授業時間ニ關スルコト

二　學級ノ編成ニ關スルコト

三　授業上ノ設備ニ關スルコト
四　生徒募集選拔試驗及入學ニ關スルコト
五　隨意科目ニ關スルコト
六　授業及休業ニ關スルコト
七　生徒ノ學籍簿出席簿ニ關スルコト
八　生徒ノ休學、退學及除名ニ關スルコト
九　生徒ノ試驗及成績考査ニ關スルコト
十　生徒ノ進級及卒業ニ關スルコト
十一　卒業生ノ大學進入ニ關スルコト
十二　在學及成績證明ニ關スルコト
十三　教官會議ニ關スルコト
十四　教官ノ缺勤、早退、遲刻屆ニ關スルコト
十五　學級主任及學級總代ニ關スルコト
十六　教室及教官室ニ關スルコト
十七　教室參觀人ニ關スルコト
十八　教務課ニ屬スル備品ノ保管ニ關スルコト
十九　教務課ニ關スル文書ノ整理保存ニ關スルコト

二十　其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第七條　生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　生徒ノ指導、監督、訓誨、懲戒ニ關スルコト
二　生徒ノ勤惰、行狀、遲刻、缺課、出缺席ニ關スルコト
三　生徒ノ衞生及身體檢査ニ關スルコト
四　生徒ノ服裝ニ關スルコト
五　生徒ノ集會及掲示ニ關スルコト
六　生徒控所ニ關スルコト
七　生徒ノ身分證明及兵役ニ關スルコト
八　通學生徒ノ宿所ニ關スルコト
九　生徒ノ入寮退寮ニ關スルコト
十　寄宿寮ノ管理、警備、衞生、食事ニ關スルコト
十一　寄宿寮ノ當直ニ關スルコト
十二　校内營業者ニ關スルコト
十三　生徒課ニ關スル文書ノ作製及保管ニ關スルコト
十四　生徒課ニ屬スル備品ノ保管ニ關スルコト
十五　其ノ他生徒ノ取締ニ關スル一切ノ事項

第八條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
二　學校長ノ官印及校印ノ管守ニ關スルコト
三　儀式ニ關スルコト
四　學校一覽及統計報告ニ關スルコト
五　日誌及諸記錄ニ關スルコト
六　文書ノ接受及發送ニ關スルコト
七　諸規則ノ制定及改廢ニ關スルコト
八　職員ノ進退、身分及服務ニ關スルコト
九　職員ノ叙位及叙勳ニ關スルコト
十　職員出席簿ノ管理及調査ニ關スルコト
十一　職員ノ願届ニ關スルコト
十二　卒業證書ニ關スルコト
十三　官報報告其ノ他ノ報告ニ關スルコト
十四　校長室及庶務課ノ備品ノ保管ニ關スルコト
十五　乘車乘船割引證ニ關スルコト
十六　當直ニ關スルコト

十七　外國教師ニ關スルコト
十八　寄附ニ關スルコト
十九　庶務ニ關スル文書ノ起案及公文書類ノ整理保存ニ關スルコト
二十　其ノ他各分課ノ主掌ニ屬セサル一切ノ事項

第九條　圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　圖書ノ保管及整理ニ關スルコト
二　圖書目錄ニ關スルコト
三　書庫及閱覽室ニ關スルコト
四　圖書ノ貸付ニ關スルコト
五　購入圖書ノ審査ニ關スルコト
六　其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十條　會計課ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一　歳入、歳出、豫算及決算ニ關スルコト
二　國有財産及資金管理ニ關スルコト
三　金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
四　物品ノ購入及不用品ノ處分ニ關スルコト
五　物品ノ出納及保管ニ關スルコト

六　營繕ニ關スルコト
七　校內ノ警備及衞生ニ關スルコト
八　傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
九　會計ニ屬スル文書ノ起案、整理及保存ニ關スルコト
十　會計帳簿ノ整頓ニ關スルコト
十一　會計課ニ屬スル備品ノ保管ニ關スルコト
十二　其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

三　文書處理規程

大正十三年五月一日制定

第一條　本校ニ到達シタル文書ハ總テ庶務課ニ於テ之ヲ收受シ左ノ各號ニ依リ之ヲ取扱ノヘシ
一　親展書其ノ他特定ノモノハ其ノ儘名宛人ニ配付スルコト
二　前號以外ノ文書ハ總テ之ヲ開封シ文書收受簿ニ登記シ文書ニ記號及年月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シテ其ノ認印ヲ徵スルコト
三　二課以上ニ關係アル文書ハ關係ノ重キニ從ヒ之ヲ配付スルコト
四　配付ヲ受ケタル文書ニシテ他課主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務課ニ還付スヘシ
第二條　左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ直接之ヲ收受スヘシ
一　教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
二　生徒ヨリ差出ス願屆書類
三　入學志願者心得、受驗名票等
四　其ノ他學校長ノ指定シタル書類
第三條　文書ノ配付ヲ受ケダルトキハ各課ニ於テ遲滯ナク之ヲ調査シ相當處理案ヲ提出スヘシ
第四條　文書ノ內容上直ニ處理案ヲ提出スルコト能ハサルトキ又ハ處理案ヲ要スルヤ否ヤ不明ナルトキハ校長ニ供閱シテ其ノ指揮ヲ受クヘシ
第五條　決裁ヲ受ケントスル文書ニシテ他課ニ關聯スル事件ハ該課ニ合議スヘシ
第六條　決裁濟ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ之ヲ處理スヘシ
決裁濟ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ淨書校合シ其ノ議案書ヲ添ヘテ庶務課ニ送付スヘシ
第七條　庶務課ニ於テハ發送文書及議案書ニ番號ヲ附シ之ヲ文書件名簿ニ登記シテ發送ノ手續ヲ了シ議案書ヲ該課ニ返付スヘシ
文書發送ニ際シ親展書、書留郵便、至急電報等特別ノ取扱ヲ要スルモノハ主掌分課ニ於テ其ノ議案書ニ標記スヘシ
第八條　庶務課ニ於テ文書ヲ發送シタルトキハ其ノ月日、受信名、發信名、料金等ヲ登記シ取扱主任檢印スヘシ
第九條　事件完結シタル文書ニシテ各課ニ保存スヘキモノヲ除ク外ハ總テ之ヲ庶務課ニ引繼クヘシ
各分課ニ於テ保存スヘキ文書ハ別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ之ヲ整理シ又ハ編纂スヘシ

四　文書保存規程

大正十三年五月一日制定

第一條　事件ノ完結シタル文書ハ各主掌分課ニ於テ整理編纂シテ之ヲ保存スヘシ

第二條　文書ノ保存ヲ區別シテ永年、十年、五年及一年ノ四種トシ其ノ保存スヘキ文書名ハ各課ニ於テ學校長ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第三條　文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ

一　事件完結ノ順序ニ依リ曆年（會計ニ關スルモノハ會計年度）ヲ以テ分界トス
但シ紙數ノ多寡ニ依リ一箇年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得

二　卷首ニ件名及索引丁數ヲ揭記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ簿冊名、年若ハ年度、保存期間、記號及主掌課名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラシムル爲前部切斷面ニ簿冊名、年若ハ年度、保存期間ヲ標記スルコト但シ保在期間一年ニ屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ得

三　圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ箱ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附記スルコト

第四條　前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書臺帳（別紙樣式）ニ登錄シテ之ヲ一定ノ場所ニ藏置スヘシ

第五條　保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但シ會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ起算スヘシ

第六條　保存期間ヲ了リ若ハ未タ了ラサルモ保存ノ必要ナシト認メタル文書ハ經伺ノ上之ヲ會計課ニ引繼クヘシ但シ一般ノ披閱ヲ避クヘキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ了リタルトキハ文書臺帳ニ廢棄年月日ヲ記入スヘシ

自昭和　年（度）
至昭和　年（度）

文書臺帳

課

名稱	年（年度）	記號	冊數	保存期間	保存終期	廢棄年月日

五　宿直勤務規程

大正十三年五月十日制定

第一條　執務時間外ニ生スル事務ヲ處理スル爲宿直ヲ置ク

第二條　本校書記及雇員ハ輪番ヲ以テ宿直ニ服スヘシ

前項以外ノ宿直ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ都度學校長特ニ之ヲ命ス

第三條　左ノ各號ノ一ニ當ル時ハ宿直ヲ免ス

一　賜暇中

二　忌引中

三　病氣其ノ他ノ事故ニ依ルトキ

四　出張ノ前日及歸校ノ翌日

五　新任者ハ着任ノ日ヨリ七日間

六　以上ノ外學校長ニ於テ除直スヘキ必要アリト認メタルトキ

第四條　宿直員ハ止ムヲ得サル事故ノ爲當日ノ勤務ニ差支ヘアルトキハ同僚ヲ以テ代直ヲ立ツルコトヲ得

第五條　宿直者ニハ其ノ前日マテニ庶務課ヨリ通知シ認印ヲ徴スヘシ

第六條　宿直ノ時間ハ左ノ如シ

一　平日ハ退出時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ

二　休日ノ晝間ハ出勤時刻ヨリ退出時刻マテ及同夜間ハ退出時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ

第七條　宿直室ニ備フヘキ帳簿及器具等ハ左ノ如シ

一　宿直名簿
二　宿直日誌
三　文書收受簿
四　文書發送簿
五　印　箱
六　郵便切手受拂簿
七　電信用語符號表
八　郵便切手及葉書
九　校務分掌規程
十　職員住所錄
十一　生徒宿所錄

第八條　宿直員勤務ノ主要事項概ネ左ノ如シ

一　接受シタル物件ヲ處理スルコト
二　校舍各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト
三　巡視ヲ監督シテ校舍內外ノ取締ヲ爲スコト
四　暴風雨及其ノ他ノ變事ニハ注意シテ校舍ノ內外ヲ巡視シ特ニ火氣ニ對シテ警戒スルコト

第九條　宿直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヒヲ爲スヘシ

一　親展公文書並ニ職員生徒宛私文書及其ノ他ノ物件ハ翌日夫々配付シ電報其ノ他急速ヲ要スト認メ得ヘキモノハ直ニ名宛人ニ送付スヘシ

二　親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ夫々處理スヘシ

第十條　宿直中非常異變アルトキハ直ニ學校長、教頭、各課長及學校附近在住ノ職員ニ通知シ事急ナルトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ但シ別ニ定ムル警備規程ニ準據スヘシ

第十一條　宿直員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル事件ヲ宿直日誌ニ認メ翌日庶務課長ニ申報スヘク若シ翌日休暇ナルトキハ交替ノ者ニ必ス事務ノ引繼ヲ爲シテ退出スヘシ

六　物品會計規程細則

第一章　總　則

大正十三年五月三日制定

第一條　物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ハ其ノ性質及用法ニ從ヒ之ヲ大別シテ備品及消耗品ノ二種トス

第三條　各課又ハ特別教室ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置キ物品ノ監守及消耗品ノ取扱ノ責ニ任セシム

第四條　前條ニ於ケル監守區域ハ學校長ノ定ムル所ニ據ル

第五條　物品ハ總テ記號ヲ付スヘシ但シ物品ノ性質形狀ニ依リ記號又ハ番號ヲ付シ難キモノハ此ノ限リニ在ラス

第二章　保管及出納

第六條　物品ノ保管及出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第七條　通常所要ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ一箇年ノ所用高ヲ豫定シ學校長ノ決裁ヲ受ケ一回又ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シタル後之ヲ藏置シ請求ニ應シテ支給スヘシ

第八條　臨時所要ノ物品ハ各課又ハ特別教室ノ請求ニ依リ物品會計官吏ニ於テ其ノ都度學校長ノ決裁ヲ受ケ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ支給スヘシ

第九條　生産及寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ見積價格ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ經テ受入、藏置若ハ

支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條　各課及特別教室ニ於テ所要ノ物品アルトキハ別ニ定ムル物件所要通告票ニ品名、數量及所要ノ事由ヲ詳記シ尙該主席者ノ檢印ヲ受ケ會計課ニ請求スヘシ但シ圖書ニ在リテハ圖書課ニ請求スルモノトス

第十一條　學術上機械ノ製作及修理ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル必要アルモノハ圖案及仕樣書ヲ添ヘ會計課ニ請求スヘシ

第十二條　會計課ニ於テ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査ジ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ提出シ受入及支給ノ命令ヲ受クヘシ但シ場合ニ依リテハ其ノ數量ヲ減シ又ハ請求ニ應セサルコトアルヘシ

第十三條　圖書課ニ於テ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ提出シ受入及支給ノ命令ヲ受クヘシ

第十四條　會計課ニ於テ物品ヲ請求者ニ支給セントスルトキハ物品支給命令票所定欄ヘ領收印ヲ徵シ請求者ニ交付スヘシ

第十五條　物品監守者及物品取扱主任者ハ物品監守簿及消耗品受拂簿ヲ設ケ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ都度之ヲ登記、備品ニ在リテハ其ノ備付場所ヲ監守簿ニ記載シ常ニ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ職員各自ノ請求ニ應シテ之ヲ支給シ帳簿ノ當該欄ニ領收印ヲ徵スヘシ

第十六條　各課及特別教室ニ於テ物品ノ不用ニ屬シタルモノアルトキハ直ニ會計課ニ返付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條　物品會計官吏ハ前條ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アルトキハ保管ノ手續ヲ爲シ使用ノ見込ナキトキハ處分案ヲ具シ學校長ノ裁決ヲ請フヘシ

第十八條　物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ物品監守者ハ其ノ事實ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ學校長ノ裁定ヲ得責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若ハ代價ヲ辨償セシムルモノトス

第十九條　自然毀損ノ物品ニシテ修理ノ上使用ノ見込アルモノハ修理ヲ請求シ其ノ見込ナキモノハ返付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條　物品監守者及物品取扱主任者交代シタルトキハ前任者後任者立會ノ上引繼ヲ爲シ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ引繼年月日ヲ記シ且記名捺印スヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明ニスル爲左ノ帳簿ヲ置クヘシ

一　普通備品出納簿
一　圖書出納簿
一　機械出納簿
一　標本出納簿

證票ニ基キ出納ヲ記入シ在庫及共用物品ノ現在ヲ明ニス

一　消耗品出納簿

證票ニ基キ物品ノ出納ヲ記入シ在庫及消費高ヲ明ニス

第二十二條　共用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一　各課又ハ特別教室ノ消耗品受拂簿ヲ毎月一回消耗品出納簿ニ照査ス

二　毎年一回物品出納簿備品監守簿消耗品受拂簿ニ依リ各課又ハ教室ニ付キ現品ヲ査閲シ學校長ニ報告スヘシ

三　前號ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ學校長ニ申告シ其ノ處理ヲ求ムヘシ

第三章　檢　閲

第二十三條　物品檢閲ヲ分チテ定期、臨時ノ二トス

定期檢閲ハ毎年八月之ヲ施行シ臨時檢閲ハ臨時必要ノ場合ニ之ヲ施行ス

第二十四條　物品檢閲員ハ委員長一名委員若干名トシ學校長職員中ヨリ之ヲ命ス

第二十五條　物品檢閲員ノ檢査スヘキ事項左ノ如シ

一　物品保管ノ適否

二　備品使用ノ適否

三　消耗品消費ノ有無

四　物品缺損ノ有無

五　帳簿ト現品トノ對照

六　其ノ他必要ヤル事項

第二十六條　物品檢閲ノ際ハ在庫品ニ付テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十七條　物品檢閲員ニ於テ檢閲上故障ナシト認メタルトキハ簿冊ニ檢印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徴スルコトアルヘシ

第二十八條　物品檢閲委員ハ其ノ檢査ヲ了シタルトキハ檢査顚末書ニ意見書ヲ付シ學校長ニ申告スヘシ

七　圖書閲覽室規則

大正十五年六月二日制定

第一條　圖書閲覽室ニ入ルコトヲ得ルモノハ左ノ如シ

一　本校職員及舊職員

二　本校生徒及卒業生

三　校長ノ許可ヲ得タルモノ

第二條　圖書閲覽室ハ日曜日、大祭祝日及本校所定ノ休校日ヲ除キ毎日之ヲ開ク但シ試驗中其ノ他必要ト認メタルトキハ休日ト雖モ特ニ之ヲ開クコトアルヘシ

第三條　圖書ヲ閲覽セントスル者ハ所定ノ用紙ニ必要事項ヲ記入シテ圖書課係員ニ差出スヘシ但シ本校生徒ハ圖書閲覽票ヲ提出スルコトヲ要ス

第四條　閲覽者ハ借覽圖書ヲ漫リニ閲覽室外ニ携出スヘカラス

第五條　閲覽者ハ借覽圖書ヲ他人ニ轉貸スヘカラス

第六條　閲覽者一人ニテ一時ニ閲覽スルヲ得ル圖書數ハ之ヲ制限スルコトアルヘシ

第七條　閲覽者ハ室内ニ於テ左ノ各項ヲ嚴守スヘシ

一　喫煙、音讀、雜談、食事等總テ他人ノ妨害トナルヘキ行爲ヲナサヽルコト

二　制服又ハ袴ヲ着用シ、靴又ハ草履ヲ穿ツコト

三　帽子、外套、マント、襟卷等ヲ着用セサルコト

四　卓子、腰掛等備附品ノ位置ヲ變更セサルコト

五　圖書閲覽ニ必要ナキ物品ヲ携ヘ入ルヘカラサルコト

第八條　前條ノ規定ニ違背シタルモノ其ノ他不都合ノ行爲アリタルモノハ退去セシムルコトアルヘシ

八　受持教官規程

昭和五年四月制定

一　本校生徒ヲ分チテ受持教官ニ配屬セシム

二　受持教官ハ生徒主事ト共ニ其ノ受持ノ生徒ノ入學ヨリ卒業ニ至ルマテ一切ノ輔導ニ當ルモノトス

三　生徒ノ配屬ハ學校長之ヲ定ム但シ生徒入學ノ際保證人ヨリ豫メ受持教官ヲ指定シテ申出ツルトキハ差支ナキ限リ之ヲ認可スヘシ

四　受持教官ハ生徒主事及學級主任教官ト聯絡シ出來ルタケ受持ノ生徒ニ接シ其ノ修學、健康其ノ他諸般ノ事情ヲ知悉シ生徒主事ト圖リテ其ノ身上相談ノ相手トナリ指導誘掖ニ當ルモノトス

五　受持教官ハ其ノ受持ノ生徒ノ保證人トノ聯絡ヲ圖リ生徒ノ家庭トノ關係ヲ親シクシ生徒ノ身上ニ關シテ互ニ腹藏ナク其ノ相談ニ與ルモノトス

九　非常警備規程

昭和十年十一月制定

第一條　退廳時間後又ハ休日等ニ於テ校內ノ出火若ハ延燒ノ虞アル近火ノ場合ハ當直員ハ臨機適當ノ處置ヲナシタル上直チニ校長、各課長、會計主任及學校附近在住ノ職員ニ報知シ當該職員ノ出校スル迄內外ノ指揮監督ニ從事スヘシ

其狀況ニ依リテハ警察署ヘ急報スヘシ

第二條　職員及傭人前條ノ火災ヲ知リタル場合ハ晝夜ヲ論セス速ニ學校ニ駈付ケ指揮者ノ指定セル部署ニ就キ生徒ト協力シテ機敏ニ任務ヲ遂行スヘシ

第三條　現場ニ駈付ケタル職員ノ從事スヘキ任務ノ概要次ノ如シ

一　上席者ハ指揮者トシテ適當ノ場所ニ非常司令部ヲ設ケ逐次參集スル職員生徒及傭人ヲ分チテ護衞、消防、警戒及運搬ノ四班ヲ組織シ夫々部署ニ就カシムヘシ

但シ職員ニシテ自己保管ニ屬スルモノニ火災ノ及フ時ハ所定ノ部署ニ依ラス消防或ハ搬出ニ當ルコトヲ得

一　各班ニ於テハ上席者其ノ班ノ長トシテ其ノ指揮ニ當ルヘシ

一　御眞影奉安所ニハ特ニ留意シ危險ノ虞アリト認ムル場合ハ直ニ非常手配ヲナシ御眞影及勅語謄本ヲ安全ナル場所ニ奉遷スヘシ

第四條　危急ノ場合ニシテ指揮者ノ指示ヲ受クル餘裕ナキトキハ臨機獨斷專行スヘシ

◎細　則

第五條　執務時間中ニ於テ火災アル場合ハ前各條ニ準シ臨機適當ノ處置ヲ爲スヘシ

第六條　火災以外ノ非常異變アル場合ハ概ネ本規程ヲ準用ス

第七條　本規程施行ニ關スル心得ハ別ニ之ヲ定ム

職

員

第五職員

（昭和十四年六月末現在）

學校長　文學士　添野信栃木

教授

國語　文學士　大藏虎亮福岡

漢文　文學士　小西兵太郎東京

哲學、獨語　文學士　織田祐萌福井

英語　文學士　雜賀忠義和歌山

英語　文學士　鳴澤寂愚廣島

獨語　文學士　渭家美材愛媛

物理、數學、自然科學　理學士　仲瀨善太郎京都

獨語　文學士　山下秩光埼玉

化學　理學士　池田英苗廣島（應召中）

法制及經濟（兼）　法學士　山尾政治鳥取

英語　文學士　山本外吉石川

物理、數學　理學士　志茂山保光京都

◎職員

◎職員

歷史　文學士　中原與茂九郎　岡山
英語　文學士　小日向幹夫　東京
動物及植物、自然科學　理學博士　渡邊清彥　靜岡
鑛物及地質、自然科學　理學士　鈴木正利　茨城
地理、圖畫　文學士　松本正六　廣島
漢文　文學士　佐中壯　鳥取
歷史、漢文　文學士　山崎喜重郎　愛媛
數學　理學士　山下恒次　東京
歷史　文學士　細川藤右衛門　高知
數學　理學博士　中島光風　福岡
國語　文學士　日比野義祐　岐阜
化學　理學博士　森孝夫　愛媛
心理、論理、獨語　文學士　橋本文晃　東京
獨語　法學士　田中五郎　山口
修身　文學士　藤田玉　埼玉
獨語　文學士　山下秩光　埼玉

生徒主事（獨語）（兼）　教授

（法制及經濟）　兼教授　文學士　山尾政治　鳥取
（心理、論理、獨語）（兼）　教授　法學士　森義孝　愛媛

配屬將校

教練　第五師團司令部付陸軍步兵大佐　山口靖　廣島
助教授　陸軍步兵准尉　松谷安藏　茨城
體操　兼生徒主事補　收入官吏物品會計官吏　垂水延秀　石川
書記　木村國太郎　廣島
須田勇助　群馬
山野岩吉　鹿兒島
石原糾　岡山

生徒主事補

（體操）（兼）　助教授　松谷安藏　茨城
傭外國人教師　チャールス・ウインスロップカップ　米國
英語　ヘンクル　獨逸
獨語

◎職員

◎職員

講師

教練	陸軍步兵大尉	石川伊雄三重
教練	陸軍步兵大尉	中村利三郎山口（應召中）
體操	陸軍步兵准尉	林恕榮央鹿兒島（應召中）
教練	陸軍步兵准尉	田中忠廣島
圖畫	廣島高等師範學校講師	原貫之助福岡
圖畫	廣島高等工業學校教授 工學士	西山福治高知
英語	廣島高等師範學校教授 文學士	小川二郎大阪
自然科學	廣島高等工業學校教授 理學士	鈴木金一廣島

武道教師

弓道		松木鶴太郎福岡
柔道		安田眞鳥取（應召中）
劍道（兼）	陸軍步兵准尉	松谷安藏茨城
柔道	縣立廣島工業學校教諭	長須賀政智茨城

事務囑託

三佐尾貫一廣島

倉本臺廣島

雇

石川武雄廣島

小田宮美視廣島

馬屋原信夫廣島

住本憲明廣島

富室敬之助島根

三戸榮雄廣島

渡邊アヤ子廣島

山岡文男廣島

臨時雇

三好義孝島根

石井志奈子廣島

石田忠士愛媛

校醫

縣立廣島病院醫員 松原泰山口

◎職員

◎職員

學級主任

文科第三學年甲類一組　教授　大藏虎亮　福岡
文科第三學年甲類二組　教授　山下恒次　東京
文科第三學年乙類　教授　橋本文夫　東京
理科第三學年甲類　教授　白比野祐　岐阜
理科第三學年乙類　教授　渡邊清彦　靜岡
文科第二學年甲類一組　教授　山本外吉　石川
文科第二學年甲類二組　教授　松本正六　廣島
文科第二學年乙類　教授　清家美材　愛媛
理科第二學年甲類　教授　細川藤右衛門　高知
理科第二學年乙類　教授　仲瀨善太郎　京都
文科第一學年甲類一組　教授　雜賀忠義　和歌山
文科第一學年甲類二組　教授　佐中壯　鳥取
文科第一學年乙類　教授　中島光鳳　福岡
理科第一學年甲類　教授　鈴木正利　茨城
理科第一學年乙類　教授　山崎喜重郎　愛媛

事務分掌

教務課

課長　教授　織田祐崩　福井
書記　須田勇助　群馬
雇　小田宮美　廣島

生徒課

課長　生徒主事兼教授　山尾政治　鳥取
教授兼生徒主事　山下秩光　埼玉
教授兼生徒主事　森義孝　愛媛
助教授兼生徒主事補　松谷安藏　茨城
書記　石原糾　岡山
講師　石川伊雄（應召中）　三重
講師　中村三郎利（應召中）　山口
講師　林怨榮（應召中）　鹿兒島
講師　田中忠央　廣島

庶務課

◎職員

（寄宿寮勤務）囑託　三尾貫一　廣島

◎職員

課長　教授　小西兵太郎　東京

圖書課

課長　書記（兼）　垂水延秀　石川

雇　馬屋原信夫　廣島

雇　富室敬之助　島根

雇　渡邊アヤ子　廣島

會計課

主任　教授　鳴澤寂蒭　廣島

書記　垂水延秀　石川

雇　住本憲明　廣島

雇　山岡文男　廣島

臨時雇　石田忠士　愛媛

書記　木村國太郎　廣島

書記　山野岩吉　鹿兒島

囑託　倉本　臺　廣島

舊職員

（雇、兼任者ハ省略）

就任年月日	退職轉任年月日死亡	摘要	前官職氏名	本籍
大一四、三、一九	大一五、三、三一	轉	教授　三輪彰	愛知
大一三、三、一三	大一五、一二、三	死	教授　名和長光	東京
大一四、四、二四	昭二、三、一五	轉（歩兵第十一聯隊附）	配屬將校　飯島信之	廣島
昭三、四、九	昭四、一、三一	退	教授　富士田英三	山形
大一四、三、二〇	昭四、三、一九	轉（臺北帝大助教授）	教授　力丸慈圓	福岡
大一三、四、一	昭四、三、三一	解	講師　西岡薰祐	山口
大一三、一、一九	昭四、五、二九	死	書記　櫻井岩藏	茨城
昭二、三、一五	昭四、八、一	轉（濱田聯隊區司令部）	配屬將校　村田辰五郎	福井
昭四、四、二一	昭五、四、二七	死	教授　鹽谷鴻	山口
大一五、四、五	昭六、一、二四	轉（海軍教授）	教授　石田巳代治	香川
大一三、三、二六	昭六、三、三一	解	講師　林廣助	熊本
大一五、一、八	昭六、三、三一	解	講師　南造敏	廣島
大一三、一、一二	昭六、七、八	死	書記　大藪利福	岡
昭四、三、三一	昭六、八、二四	轉（石川縣師教諭）	教授　久司慶三	和歌山

◎職員

大一四、三、三一	昭六、一一、一〇	轉	（廣文理大助教授）	教授 杉本直治郎 滋賀
昭四、八、一	昭七、一、九	轉	（第十四師團參謀）	配屬將校 關原六 新潟
大一二、一二、一一	昭七、三、三一	轉	（第五高校長）	校長 十時彌 福岡
昭四、三、三〇	昭七、一二、六	退		教授 增田幸一 東京
大一三、三、一〇	昭七、二、三	退		教授 大谷正信 島根
昭七、二、三	昭八、一一、一七	死		講師 新野作平 福岡
昭五、九、九	昭八、一一、三〇	解		講師 藤井達之 廣島
昭八、三、三一	昭九、一、三一	解		助教授兼生徒主事 池上喜作 靜岡
大一三、一、一一	昭八、九、一九	退		補講師 長島喜三 神奈川
昭八、九、三〇	昭九、三、三一	解		教授 堀江久勝 長野
大一四、三、三一	昭九、五、五	退		教授 飯田御世吉郎 福岡
大一三、三、四	昭七、二、三	退		講師 下田卯市 廣島
昭七、二、三	昭九、六、一二	解		教授 中島一郎 石川
大一三、三、一〇	昭八、九、三〇	退		教授 北島葭江 岡山
昭八、九、三〇	昭九、六、一二	解		教授 上浦種一 和歌山
大一三、三、一二	昭九、八、二	退		教授 日高第四郎 東京
大一三、三、一二	昭九、八、二	退		校長 新保寅次 新潟
大一三、三、一〇	昭九、八、二	退		講師 貴島三德 鹿兒島
大一三、三、二九	昭九、八、二	退		教授 比企修 福井
大一五、三、三一	昭九、八、二	退		教授 柳田加藤次 大分
昭七、三、三一	昭九、八、七	退		教授 細谷恒夫 山形
昭九、三、三一	昭一〇、二、八	解		生徒主事兼教授 濱本勝治郎 京都
大一五、四、五	昭一〇、三、三〇	退		配屬將校 朝比奈三郎 千葉
昭九、一、三一	昭一〇、三、三〇	轉	（佐賀縣小城中學校長）	傭外國人教師 ヴルテル・ドーナート 獨逸
昭九、五、三一	昭一〇、四、二五	轉	（東北帝大助教授）	校長 岡上梁 高知
大一四、三、三一	昭一〇、四、三〇	轉	（長野縣女專教授）	教授 星野歲鑿 山口
昭七、一、九	昭一〇、八、一	待		配屬將校 山崎三子次郎 東京
大一四、一一、一五	昭一一、三、三一	解		教授 新開長英 福岡
昭九、八、七	昭一一、一二、一九	轉	（浦和高校長）	教授 青山延敏 茨城
大一三、三、一三	昭一一、一二、二三	轉	（佐賀高校教授）	講師 朝比奈三郎 千葉
昭一〇、八、一	昭一二、一一、二〇	轉	（北支派遣軍〇〇部隊〇部隊）	書記 柳奧郁郎 廣島
昭九、八、三一	昭一三、三、一九	轉	（福岡高校教授）	傭外國人教師 ディートリッヒ・ゼッケル 獨逸
昭九、九、一〇	昭一三、八、六	退		教師 古賀恒吉 佐賀
昭一三、一、一〇	昭一三、九、二二	解		
昭六、九、五	昭一四、二、七	退		
昭一一、一二、一二	昭一四、三、三一	解		
昭一三、一、一三	昭一四、四、一四	解		

©版權所有

生

徒

第六生徒

一生徒氏名

文科第三學年甲類一組（二八名）

福山	秋田武己	廣島	宇部	國吉正臣	山口	廣島一	橋本憲夫 廣島
大分	安部巖	大分	廣島二	熊己鐵次郎	廣島	矢掛	福田七生 岡山
廣島二	一柳正夫	廣島	米子	崎田邦介	鳥取	川崎	藤本希一 神奈川
廣島一	今村晟	廣島	廣師附	佐々木浩	廣島	廣師附	前川保男 廣島
廣師附	上園迪	廣島	山陽	住本隆富	廣島	神戸一	三浦忠 廣島
廣島一	大島富士雄	東京	米子	高林克巳	鳥取	廣島一	村上享司 廣島
廣島一	尾崎芳人	廣島	廣島一	伊達克彰	廣島	福山	山內孝 廣島
修道	鐘尾豊	廣島	京城	中川秋雄	三重	忠海	渡邊忠之 廣島
廣島一	可部輝夫	廣島	北野	中西均	山形		
神戸一	岸巖	兵庫	吳一	野村幹夫	廣島		

◎生徒

文科第三學年甲類二組（二五名）

柏原	安藤繁之	兵庫	吳一
大連一	井田正之	鳥取	廣島一
岸和田	上野琢磨	大阪	修道
廣島一	大澤邦雄	廣島	廣島一
廣島一	大守坦	岡山	吳一
吳一	折出四郎	廣島	防府
廣島一	加藤次男	廣島	安東
廣島一	小島次郎	廣島	八女
吳一	佐々木敏弘	廣島	廣師附
	佐々木淑雄	秋田	福山
	武林範定	廣島	修道
	谷口龍雄	廣島	羅南
	新船金一郎	福島	濱田
	濱崎義治	廣島	廣師附
	林二郎	山口	德島
	原信雄	北海道	丸龜
	藤井堯四郎	廣島	山上市郎
	藤原博	廣島	古本敏彥
	松井豐	島根	三谷昇
	村田榮	德島	上市郎
	山上市郎	香川	

文科第三學年乙類（三一名）

廣師附	阿川弘之	山口	西條
廣島一	石黑義久	高知	津
豐中	石田二郎	島根	福山
廣島二	石津敬	廣島	吳一
大連一	植木亘	廣島	廣島一
	宇野義男	愛媛	廣師附
	大島義信	愛知	廣師附
	大平新七郎	廣島	三次
	沖濱寅雄	廣島	崇德
	金田民夫	廣島	廣島一
	神谷重男	草都	廣師附
	河上長生	廣島	廣師附
	金口進	廣島	
	河埜一眞	廣島	崇德
	定本眞一	廣島	廣島一

◎生徒

理科第三學年甲類（三六名）

門司	佐藤直	大分	鳳
岩國	島司守人	山口	津山
大連二	高名計三	廣島二	日
神戸三	谷岡芳樹	岡山	廣島一
廣島一	津久井佐喜男	群馬	福
廣島一	中西貞夫	廣島	廣島一
	西本松治	山口	堺
	濱田覺	廣島	吳二
	日石朝之	廣島	廣師附
	平田隆	廣島	德山
	福田昌作	廣島	山本幸雄
	松本滋	鳥取	山口
	三木淳三	大阪	長崎
	水野康雄	廣島	石井勝海
	源憲勝	島根	伊藤文雄
	山本幸雄	山口	上田睦生
			臼井敏男
			梅屋薰
			浦田久數
			宇和川澄
			岡村志郎
	朝戸大	岐阜	福山
	石井勝海	廣島	安東
	伊藤文雄	廣島	德山
	上田睦生	山口	廣師附
	臼井敏男	兵庫	福山
	梅屋薰	山口	修道
	浦田久數	香川	岩國
	宇和川澄	東京	安東
	岡村志郎	廣島	廣島二
	加藤毅	廣島	坪井一郎
	唐津一	兵庫	長崎千代吉
	河合宗夫	山口	橋本高夫
	清原道也	大分	長谷川寬
	倉本芳造	廣島	原克郎
	桑原春樹	廣島	伴康
	小枝幾久雄	山口	藤本榮一
	近藤壽一	鳥取	藤本健
	澤野武美	廣島	增田榮次
	新宮	福山	
	長崎千代吉	廣島	
	橋本高夫	山口	
	長谷川寬	群馬	
	原克郎	山口	
	伴康	島根	
	藤本榮一	廣島	
	藤本健	山口	
	增田榮次	廣島	

◎生徒

廣島二	水木三郎	山口
廣島一	三好守高	廣島
廣師附	宗岡博生	廣島

理科第三學年乙類（二四名）

廣島二	石澤正一	廣島
防府	磯永克己	山口
北野	伊藤鉄郎	廣島
廣師附	岩田哲夫	島根
郡山	植田勝比古	奈良
廣島二	岡野繁光	廣島
廣島一	小田英夫	廣島
廣島一	梶山豊	山口
豊中	栗根康次	廣島
住吉	伊藤正治	廣島
廣島一	井上英治	廣島
今宮	岩橋輝雄	和歌山

文科第二學年甲類一組（三二名）

廣島一	村上正孝	廣島
廣島一	安田周一郎	靜岡
廣師附	山內敕靖	廣島
奉天	勝田京一	茨城
三重工	川村好弘	三重
下關	越野勉	山口
廣島一	田中敬一	山口
新竹	陳南屏	台灣
廣島一	西川稔	廣島
修道	平野和人	廣島
廣島二	藤原瑳六	廣島
廣師附	大佐正之	廣島
尾崎	梶田久春	大阪
廣島二	金尾澄映	廣島
東府六	鎌田賢治	東京
吳二	山本政秋	廣島
崇德	山本正人	廣島
吳一	渡邊康次郎	神奈川
修道	光藤由己	愛媛
福山	宮野伸三	廣島
廣師附	村木幹雄	廣島
廣師附	望月明	廣島
廣師附	安田滋	廣島
廣島二	安富徹	山口
今治	山本紀市郎	愛媛
廣師附	吉川剛夫	新潟
甲陽	川口平一郎	兵庫
廣師附	北村萬次	廣島
光州	清苗藏	鹿兒島
福山	坂部武夫	廣島

廣師附	佐上弘	廣島
廣島一	佐土俠夫	廣島
三次	砂田公德	廣島
神戸一	關野勇	山梨
東京二	反町誠一	新潟
堺	田中駒一	大阪
修道	鞆田幸俊	廣島
堺	吳一	廣島
豐田吉雄		大阪
中川弘之		廣島
中城堅吉		高知
長澤智夫		廣島
仁方越利明		福岡
西田忠		廣島
埴岡眞治		大阪
濱西哲也		廣島
福代基嗣		島根
福田禎雄		廣島
松野清		廣島
丸山竹秋		大阪
吉光弘		廣島
高橋功		愛知
武村嶺雄		山口
田中一郎		兵庫
谷本廣光		廣島
豐田昭		栃木
中鹽達也		廣島
花田惟忠		廣島
羽守鐵夫		滋賀

文科第二學年甲類二組（二九名）

廣島二	生島曉	高知
彥根	石橋大輔	滋賀
廣島一	伊藤雅夫	山口
洲本	井上滿	兵庫
柳井	緒方俊夫	山口
彌山	小川弘光	岡山
尼崎	金島卓司	兵庫
廣島一	金谷整治	廣島
岸	健吉郎	廣島
北村	煥文	岐阜
補本	哲夫	山口
熊田	重邦	廣島
桑原辰之助		岐阜
上月	景正	熊本
坂本道紀		廣島
椎野	博	廣島

◎生徒

◎生徒

新庄　久枝秀夫　廣島　高松　山崎綾二　香川　岩國　吉武　進　大分
矢掛　藤枝備男　岡山　尾道　横田　弘　廣島

文科第二學年乙類（三〇名）

修道　秋田　彰　廣島　廣島二　勝谷喜雄　廣島　柳井　玉野井昌夫　山口
福山　生田　誠　廣島　福山一　木田　宏　和歌山　若松　田村道三　長崎
多度津　石川宗雄　香川　廣島一　木原健太郎　廣島　釜山　富田順一　神奈川
修道　岩崎利夫　廣島　吳一　小松勇五郎　高知　德島　中内侃　德島
廣島二　上野富夫　廣島　廣島二　山蘇壽　島根　廣師附　永井博　廣島
廣島一　大濱毘古　廣島　吳一　重岡守　山口　廣島一　松井五郎　廣島
廣島一　小川新　廣島　廣師附　杉本聰　廣島　柳井忠雄　山口
福山　岡田正晶　廣島　修道　杉本明　廣島　廣島一　宮脇幸彦　島根
廣島一　香川繁太郎　廣島　廣島一　鈴木健二　愛媛　岩國　村上謙　山口
廣島二　影山文朗　廣島　廣島二　多川庄次郎　廣島　吉光　正　廣島

理科第二學年甲類（三一名）

廣師附　阿部靜雄　宮城　東京四　阿部一善　東京　吳一　岩西哲郎　廣島
東京二　伊田一善　東京　神戸二　入澤恒　兵庫　吳一　岡山興隆　廣島

吳一　奥田薫　廣島　廣師附　仲佐洋三　千葉
神戸一　川越敬一　石川　廣師附　中村清　廣島
平壤　川橋猛　長崎　神戸一　松田健治　兵庫
大連一　久良喜代彦　廣島　東京九　三上喜彦　廣島
廣島一　坂田玉一　廣島　廣島一　毛利保吉　廣島
防府　品川正秀　山口　天王寺　山内次郎　大阪
大連二　須藤清敏　福岡　奉天一　山本孝　福岡
今治　武司秀夫　愛媛　廣師附　湧島　滋賀
廣島一　中川芳彦　廣島　吳一　增岡哲雄　廣島

理科第二學年乙類（三三名）

廣島一　吾河久造　廣島　豐中　大野清　大阪　廣島二　鈴木孝　東京
廣師附　飯田功男　山口　修道　沖增力雄　廣島　廣島二　高梨愼吾　鳥取
福山　井田英夫　廣島　廣師附　小泉悅司　廣島　世羅　高山肇　廣島
修道　大井一郎　廣島　廣島二　紺田秀雄　廣島　廣師附　竹川昌平　島根
廣島一　大島一志　廣島　廣島一　澤見春康　廣島　廣師附　多田彰俊　廣島
廣島一　大田信伍　廣島　末田尙　廣島　廣島一　中井剛　廣島

◎生徒

◎生徒

柏原	中川泰男	兵庫	
台北一	中田行	廣島	
忠海	中野勝	大分	
尾道	中原篤一	岡山	
廣島一	中村公正	鳥取	
柏原	長澤正夫	兵庫	
廣島一	西尾篤人	廣島	
廣島一	能美良作	島根	
吳一	弘中秀典	山口	
柳井	堀内弘敏	廣島	

文科第一學年甲類一組（四〇名）

福山	赤木鄉八郎	廣島	
津	庵前拓也	三重	
神戸一	池田信彥	兵庫	
京城	石川英夫	山梨	
廣島二	伊藤久	廣島	
廣島一	上田溫曹	廣島	
吳一	柏村博	廣島	
府中	唐川富雄	廣島	
廣島二	菊池靖	福岡	
奉天一	木下純一郎	京都	
廣島一	久保田稔	廣島	
仙臺一	黑崎昭	東京	
廣島二	小西源吉	廣島	
府中	榊博	廣島	
廣島一	須藤勝美	廣島	
廣島一	末本公彥	廣島	
三次	高岡肇	廣島	
吳一	唐川富雄	廣島	
岩國	津山喬雄	山口	
京都一	成瀨淳	東京	
廣島一	中村久夫	廣島	
神戸一	箱木敏夫	兵庫	
德山	橋本宗三	山口	
廣島二	林謙一	熊本	
豐浦	福田捨喜	山口	
濱田	古川勝弘	島根	
修道	堀正行	廣島	
埴田	和信	廣島	
吳一	間瀨清	島根	
松岡	矢大	大分	
廣師附	正木光	廣島	
北野	萬井正人	大阪	
廣島二	三戶英雄	廣島	
廣島二	安田正憲	富山	
京城	吉峰泰夫	香川	

◎生徒

廣島一	松原英吉	廣島	
北野	丸井茂仁	香川	
豐中	水野治彥	大阪	
廣島一	村田文雄	廣島	
修道	山登暉夫	廣島	
尼崎	山根脩	兵庫	
神戸一	山本吉成	兵庫	
高知城東	宇田豐	高知	
福山	赤松範之	廣島	
吳一	稻垣泰彥	廣島	
高松	入倉正	香川	
廣島一	岩原武三	廣島	
廣島一	梅田正行	廣島	
小樽	卜部尙史	廣島	
米子	遠藤和夫	鳥取	
廣師附	大下哲男	廣島	
福山	大橋隆	山形	
廣島一	岡本顯介	廣島	
濱田	小倉敏郎	岐阜	
廣島二	河村榮	廣島	
神戸一	川西甫	兵庫	
安東	河原繁夫	廣島	
羅南	木金篠夫	廣島	
高松	久保嘉郎	香川	
廣島二	細木信男	米國	
德山	坂本勝美	石川	
奉天一	篠野滿男	宮城	
廣島一	住谷將之	廣島	
廣島一	高瀨照男	廣島	
廣島一	武廣文雄	廣島	
廣師附	多田圭次郎	廣島	
吳一	中鹽正治	廣島	
廣師附	中村英雄	廣島	
日高	西川克己	和歌山	
堺	長谷川啓	福島	
廣島一	林功	山口	
一宮	樋田幸男	愛知	
京城	穗積重道	東京	
神戸二	松村俊策	山口	
廣島一	萬谷忠夫	廣島	
神戸二	萬濃誠三	三重	

文科第一學年甲類二組（四〇名）

◉生徒

柳井三浦正人 山口
廣師附 宮島一郎 岡山
廣島一 宮庄州男 廣島

文科第一學年乙類（四〇名）

杵築 淺野幸四郎 大分
廣島二 石井金一郎 愛媛
福山 岡田明雄 廣島
廣師附 岡田卓郎 廣島
福山 岡本正 廣島
廣島一 大石脩 廣島
廣師附 大石法夫 廣島
崇德 大田垣正圓 廣島
吳一 香川樺三 廣島
京都一 片岡恭三 重
廣島一 串山八太郎 廣島
中津 佐々木美智生 福岡

尼崎 澁谷涉 岡山
廣島二 竹内滋美 廣島
住吉 田中雄一 富山
豊中 把田幾三 廣島
修道中 村弘道 鳥取
今治中 中村泰 廣島
廣師附 鳴澤宏英 廣島

尼崎 西野義之助 山口
廣師附 二宮烝一 愛媛
德山 英愚民 山口
廣島二 廣重清 山口
大連 福永謹司 山口
吳二 星埜一彦 廣島
福山 松岡五作 廣島
廣島二 三上嘉明 廣島
廣師附 觀山文雄 廣島
柳井 無漏田敬信 山口
大連二 山崎大之 栃木
廣島一 山本晶三 廣島

柳本佐朝 山梨
山口正次 大阪
山本義淳 廣島

京城 柳本佐朝 山梨
神戸一 山口正次 大阪
廣島一 山本義淳 廣島

神戸一 吉田康二 兵庫

防府 由川虎王 山口
廣島一 吉野寬治 廣島

廣島一 吉野友己 廣島
廣師附 米田節次郎 廣島

理科第一學年甲類（四〇名）

仙臺二 有田大作 廣島
廣島二 磯崎慶作 廣島
堺 井上新一 大阪
廣師附 今村照久 廣島
廣島一 植木崇 廣島
和歌山 岡信次 和歌山
京城 小田桂三郎 三重
室蘭 片倉英一 宮城
修道 加藤克一 德島
廣師附 加藤元彥 廣島
米子 門永政雄 鳥取
安東 神谷朗男 愛媛
吳二 川岡曉美 廣島

今治 菅康男 愛媛
廣島二 熊谷定治 廣島
吳一 野村壽太郎 廣島
廣島二 林正照 廣島
廣島一 東晉 廣島
廣師附 深田瑞穗 高知
豐中 松岡紀明 三重
岩國 松重聲 山口
廣島一 光成卓志 廣島
廣師附 水谷俊雄 東京
神戸一 南敬太郎 兵庫
三池 簑田正勝 福岡
中村 山下健二郎 高知
神戸三 山田博愛 兵庫

德山 溫品鳳治 山口
吳一 野村壽太郎 廣島
廣島二 林正照 廣島
廣島一 東晉 廣島
廣師附 深田瑞穗 高知
豐中 松岡紀明 三重
岩國 松重聲 山口
廣島一 光成卓志 廣島
廣師附 水谷俊雄 東京
神戸一 南敬太郎 兵庫
三池 簑田正勝 福岡
中村 山下健二郎 高知
神戸三 山田博愛 兵庫

◉生徒

◎生徒

北野　横川親雄　京都一

理科第一學年乙類（四〇名）

長崎	相川潔	長崎	福山	小泉半五郎	廣島	廣島一	林基	鹿兒島
福山	池田德郎	廣島	廣師附	佐藤正樹	岡山	廣島二	平井宗之	廣島
吳二	石井進	廣島	廣師附	澤田恂	廣島	廣師附	福原德光	廣島
大邱	石田常彥	宮城	世羅	佐伯高久	廣島	福山	藤井紀	廣島
廣師附	石橋洪一	福井	防府	末田一郎	廣島	吳一	藤井力	廣島
吳一	石本脩策	廣島	修道	菅原淳	廣島	廣島一	藤河家義敬	廣島
廣師附	岩田直人	島根	濱松二	鈴木愛朗	靜岡	廣島一	堀田博美	廣島
修道	上田恒憲	廣島	修道	瀨口治德	大分	吳二	升谷年彥	廣島
廣島一	小田卓司	廣島	吉田	谷口泰章	愛媛	廣島一	宮原恒夫	廣島
廣師附	金光浩治	廣島	釜山	太原幹夫	鹿兒島	德島	吉田克	香川
京城	川崎弌	大阪	京都一	寺本豐雄	京都	廣島一	賴島元	廣島
柳井	河添邦太朗	山口	吳一	內藤博夫	廣島	廣師附	渡邊英二	廣島
德島	北室直衛	德島	今治	野間英喜	愛媛			
豐中	金大藏	愛知	吳二	林冬十良	廣島			

二　在學者本籍府縣別表

府縣名	文科	理科	計
北海道	一		一
宮城	一	三	四
秋田	一		一
山形	二		二
福島	三		三
茨城		一	一
栃木	二		二
群馬	一	一	二
千葉		一	一
東京	五	六	一一
神奈川	二	一	三
新潟	一	一	二
富山	一		一
石川	一	二	三

◎在學者本籍府縣別表

◎在學者本籍府縣別表

福井	一	一	一	一	一
山梨	三	三	三	三	三
岐阜	三	一	四	四	四
靜岡	三	三	三	三	三
愛知	三	一	四	四	四
三重	四	三	七	七	七
滋賀	二		二	二	二
京都	二	三	五	五	五
大阪	九	五	一四	一四	一四
兵庫	一三	一〇	二三	二三	二三
奈良		一	一	一	一
和歌山	三	二	五	五	五
鳥取	六	五	一一	一一	一一
島根	七	五	一二	一二	一二
岡山	七	二	九	九	九
廣島	一五一	九四	二四五	二四五	二四五
山口	二九	二四	五三	五三	五三
德島	二	三	五	五	五

香川	六	三	九	一四	七
愛媛	五	九	一四	七	七
高知	五	二	七	七	三
福岡	四	三	三	三	二
長崎	一	二	二	二	二
熊本	二		八	八	八
大分	五	三	三	三	三
鹿兒島	一	二	一	一	一
臺灣		一	一	一	一
米國	一		一	一	一
計	二九五	二〇四	四九九	四九九	四九九

三　在學生徒並入學志願者入學者表（昭和十四年五月三十一日現在）

種別		第一學年	第二學年	第三學年	計	入學志願者	入學者
文科	甲類	八〇	六一	五三	一九四	四四一	七九
	乙類	四〇	三〇	三一	一〇一	一七六	三九
	計	一二〇	九一	八四	二九五	六一七	一一八

◎在學者本籍府縣別表◎在學生徒並入學志願者入學者表

理科 甲類	四〇	三一	三六	一〇七	二九二	三九
理科 乙類	四〇	三三	二四	九七	一八二	三九
理科 計	八〇	六四	六〇	二〇四	四七四	七八
總計	二〇〇	一五五	一四四	四九九	一、〇九二	一九六

四　入學者學歷別表

年度別		科別	文科	理科	計
入學者	中學四年修了	昭和十四年	二五	一一	三六
		昭和十三年以前	一	—	一
	中學卒業	昭和十四年	六七	四二	一〇九
		昭和十三年	二三	二三	四六
		昭和十二年	二	一	三
		昭和十一年	—	一	一
	計		一一八	七八	一九六
同上百分比	中學四年修了	昭和十四年	二一、二	一四、一	一八、四
		昭和十三年以前	〇、八	—	〇、五
	中學卒業	昭和十四年	五六、八	五三、八	五五、六
		昭和十三年	一九、五	二九、五	二三、五
		昭和十二年	一、七	一、三	一、五
		昭和十一年	—	一、三	〇、五
	計		100	100	100

五　生徒年齡別表（昭和十四年五月三十一日現在）

種別	最高年齡 文科	最高年齡 理科	最低年齡 文科	最低年齡 理科	平均年齡 文科	平均年齡 理科
新入生	二〇年、二月	二〇年、三月	一六年、三月	一六年、三月	一七年、一〇月	一八年、〇月
第一學年	二〇、二	二〇、五	一六、五	一六、三	一七、一〇	一八、一
第二學年	二一、一	二三、〇	一七、三	一七、二	一九、一	一九、四
第三學年	二七、〇	二四、六	一八、六	一九、三	二一、四	二三、四

卒業生

第七卒業生

（卒業生各頭書ニ（東）法トアルハ東京帝國大學法學士、（京文トアルハ京都帝國大學文學部在學者ヲ示ス）

（第一回）昭和二年三月十日卒業（一五二名）

文科甲類（六四名）

（京）法　蘆田英雄　兵庫
（東）經　東田以德　廣島
（東）經　綾田（間島）整治　香川
（京）經　安藤忠雄　廣島
（京）文　伊藤員馬　廣島
（京）經　井上正作　兵庫
（東）經　牛尾二郎　廣島
死　宇都宮壽　愛媛
（京）法　大久保忠昌　靜岡
（東）文　太田晉次郎　岡山
（東）法　小川清矣　愛媛
（東）法　數山英一　富山
（京）經　岸本文博　福岡

（東）法　北彰　廣島
（京）經　木地雄吉　大阪
（東）文　河野光男　廣島
（東）經　古賀要　福岡
（京）文　後藤文雄　廣島
（京）文　小日向恒夫　東京
（東）法　小松正次郎　高知
死　近藤常夫　香川
（京）法　佐伯弘　廣島
（京）經　坂部泰代（松本休次郎）　京都
（京）經　佐々木勇藏　大阪
（東）法　篠村周三　廣島
（京）經　潮村浪雄　山口

死　重野覺　山口
（京）法（東）經　末田豐　東京
（東）經　末盛衛　廣島
（廣）經　杉丙三　山口
（東）經　關口勝太郎　廣島
（京）經　高浦慣爾　廣島
（京）經　田坂省三　山口
（東）法　田島義治　神奈川
（京）法　立本肇　廣島
（京）經　田中實稻　高知
（京）文　谷本勉　廣島
（東）經　辻完　廣島
（東）經　富狹工　廣島

◎卒業生（二）

（京）経　富田英夫（石井）　廣島
（東）経　名倉秋生　廣島
（東）経　中東實（伊藤）　廣島
（京）経　新延磐一　廣島
（東）経　橋本三三　廣島
（京）法　林友壽　廣島
（東）法　原田正　兵庫
（京）文　原田正雄　廣島
（京）法　平賀五男　廣島

文科乙類（三四名）

（東）法　伊藤日出雄　廣島
（京）文　岩根保重　山口
（東）法　衛藤干域　大分
（京）文　大角良雄　大阪
死　久留島孜　廣島
（東）経　奥平英雄　廣島
（京）文　加計敏吉　廣島

（東）文　川島正亮　廣島
（京）法　木村幸一　廣島
（京）経　楠木保　廣島
（東）法　佐藤秀雄　廣島
（京）文　下程勇吉　廣島
（京）経　宗義三太　福岡
（東）法　武田邦雄　廣島
死　垂水巌　大分
（京）文　土家良夫　京都

（京）経　廣澤健二　富山
（東）文　廣谷千代造　廣島
（東）文　福原（栗宗）繁　廣島
（東）法　藤永龍雄　廣島
（東）経　堀川八郎　廣島
（京）法　松室達雄　兵庫
（東北）法文　松本信一　山口
（京）経　三井眞一朗　愛知
（京）経　南崎五男（小野田）　宮崎
死　宮下弘史　廣島
（東）経　村上哲夫　廣島
（東）法　森田正輝　廣島
（東）法　山川肇　廣島
（東）法　山口一夫　廣島
（京）経　山本照　廣島
（東）文　和田庸三　滋賀

（東）法　徳永秀夫　廣島
（京）法　戸野原史朗　廣島
（東）法　長岡彌一　廣島
（東）経　中川壽　廣島
（京）文　平田弘熊　本
（京）経　福島武　東京
（東北）法文　福田幹雄　山口
（京）経　富士川義彦　廣島
（京）経　古谷省三　山口
（京）経　松岡功　大分
（京）経　松田堅三　鹿児島
（京）経　三上新　廣島
（京）経　村上勝三　廣島
（京）経　村上弘　山口
（東）法　山下（勝矢）中　廣島
（京）法　横田千二　大分

理科甲類（二九名）

（東）医　足立忠　北海道
（東）農　池内貞慶　廣島
（京）農　今村新　廣島
死　打海秀夫　廣島
（九）農　大熊義一　兵庫
（東北）理　岡村確　廣島
（東）工　川崎辰國　廣島
（東北）理　川瀬秀夫　廣島
（東）理　神田清　愛知
（九）工　貫田武　廣島
（東）農　倉茂英次郎　新潟
（東）工　玄道啓三　廣島
（東）工　佐々木（杉浦）正美　静岡
（東）工　宍戸修　廣島
（東）工　仙頭忠　廣島
（東北）理　竹内元一　廣島
（東）工　田中政吾　廣島
（東）工　田中良太郎　滋賀
（京）農　玉木義彦　廣島
（京）農　辻康彦　廣島
（九）工　手島義勇　大分
（東）農　寺田庄次郎　廣島
（京）経　長坂世雄　廣島
（廣）文理　中村金介　岡山
死　根本廣明　福島
（東）工　牧島五郎　山口
（京）理　松本徳智　廣島

死　水野嘉勝 廣島 一　(岡)醫 山崎三省 廣島 一

理科乙類（二二五名）

死　荒田三郎 山口　(岡)醫 藏本養三 廣島
(日)醫 有吉三男 山口　(京)醫 近藤達雄 廣島
(岡)醫 栗屋一歩 廣島　(千)醫 佐々猛 岡山
(千)醫 大谷義夫 廣島　(九)醫 杉岡直登 廣島
(京)農 石原琢郎 廣島　(東北)理 高木通泰 廣島
死　川本(岡田)悟 廣島　(九)醫 津田秀雄 廣島
(京)醫 川本重雄 廣島　(名)醫 中川(羽山)政信 廣島
(九)法文 金應鉉 朝鮮　(長)醫 永田友諒 長崎
(長)醫 熊巳四郎 廣島　(京)經 鍋島尙三 廣島

(名)醫 波多野克巳 朝島
(京)理 林彌兵衛 山口
(京)醫 東田巧 廣島
(京)醫 福井正雄 山口
(岡)醫 松本孝雄 岡山
(東北)理 宮本義男 山形
(九)農 行友憲次 山口

(第二回) 昭和三年三月十日卒業（一七〇名）

文科甲類（七四名）

(京)法 安藝英二 香川　(京)法 伊東正 山口
(京)法 池高勛 廣島　(京)經 井内(中川)松一 廣島

(京)法文 今村新太郎 東京
(京)經 岩村喜代人 廣島

(京)文 惠美知定 廣島　(京)文 三光迪 廣島
(東)法 太田正 廣島　(東)文 篠田隆治 靜岡
(京)經 大東守太郎(森本) 福岡　(京)法 下野一市 廣島
(東)文 小川專正 愛知　(京)經 角南登三太 岡山
死　龜井藤吉 高知　(東)法 大樂嘉一郎 山口
(京)法 川崎正夫 廣島　(東)經 高槻紀男 廣島
(東)經 神田正夫 廣島　(東)文 高藤(澤野)武馬 廣島
(京)經 冠稻實 廣島　(東)法 橘(乱本)小八郎 和歌山
(東)經 北川四郎 廣島　(東)經 龍田靜夫 廣島
(九)法文 木地本辰助 廣島　(京)法 玉木仲彦 廣島
(東)經 吉川雅 廣島　(東)經 鼓義男 山口
(京)經 栗田磐三 廣島　死　津野一郎 大阪
(京)經 栗原彌太郎 埼玉　(京)經 坪井義男 香川
(東)經 笹尾嘉德 廣島　(京)文 長江道太郎 岡山
(東)法 笹本(二井内)忠恕 靜岡　(九)法文 長尾篤 愛媛
(京)經 佐藤勝三 愛媛　(京)法 仲野修 大阪
(京)法 佐藤二郎 大阪　(東)文 西孝 山口

(東)經 西岡定 廣島
(京)法 西谷四郎 廣島
(京)經 野村宥三 廣島
(東)經 秦正夫 廣島
(東)法 花本藏之助 廣島
(東)經 馬場春雄 岩手
(京)文 林茂 廣島
(東)法 福島逸雄 熊本
(東)經 福原邦輔 廣島
(京)法 藤井香 廣島
(東)經 船岡鐵司 廣島
(東)法 正木巽 廣島
(京)經 松島緩 廣島
(京)經 松本博 廣島
(京)文 眞鍋義雄 愛媛
(京)法 南丘千 和歌山
(東)法 三原績 廣島

（東）法　村上國平　山口
（京）法　本村　浩　鳥取
（東）經　守川成太郎　山口
（京）法　森田文五　廣島
（東）文　森本忠雄　高知
（京）文　安江茂三郎　岐阜

（東）經　矢田鴻一　山口
（京）法　柳田俊雄　京都
（京）法　岡春三　廣島
（東）法　河正人　廣島
（京）法　山根彦治郎　廣島
（京）法　山村仁策　廣島

文科乙類（三一名）

（東）法　天野常次郎　廣島
（東）文　植田敏郎　廣島
（京）法　大島一幸　岡山
（京）法　岡本正信　福井
（京）文　小田切香苗　栃木
（東）法　加藤武夫　廣島
（東）法　上垣内武　兵庫
（東）法　熊谷英麿　廣島
（東）法　熊野徳次郎　廣島

（京）法　兒玉壽雄　熊本
（東）文　小林四郎　廣島
（東）法　杉原靜雄　廣島
（京）文　諏澤太郎　廣島
（京）法　染谷敏　埼玉
（京）法　山本義二　香川
（東）法　古田郁郎　岐阜
（京）法　逸見顯善　東京
（東）文　溝手伎　廣島

死　葉田秀二　兵庫
（東）法　原武夫　島根
（東）經　播本福一　廣島
（京）法　福山嗣良　廣島
（京）法　藤田（濱田）文三　廣島
（京）法　藤田次郎大　阪

（京）文　宮本清　愛媛
（京）經　宮本滋和　歌山

（九）法文　矢野泰　愛媛
（東）文　山本（山脇）宗本（峯岸）　埼玉

理科甲類（三四名）

（長）醫　池田岩雄　廣島
（京）農　泉克巳　廣島
（京）農　井東敬三　廣島
（京）醫　井口哲　廣島
（東）工　太田佐久良　島根
（東北）工　岡田幸雄　廣島
（京）農　岡田勗　廣島
（東）醫　小河九一郎　廣島
（廣）文理　織田秀雄　廣島
（東）農　落合英一　栃木
（京）理　木村太郎　廣島
死　楠原哲之助　廣島

（京）工　國安虎雄　京都
（東）工　重滿通彌　廣島
（東）農　新原清明　廣島
（東）工　鈴木良雄　廣島
（東北）理　瀧元　廣島
（京）工　宮下俊二　兵庫
（東）理　竹内義孝　島根
（東）工　千柄實勇　廣島
（京）農　友宗忠雄　廣島
（東）農　永井行夫　廣島
（京）法　長尾準三　廣島
（東）工　中村清臣　兵庫

（東）工　林良作　廣島
（東）農　福原忠信　廣島
死　松島勝　廣島
（京）農　松丸勳　鳥取
（京）工　宮下俊二　兵庫
（東）工　村上末雄　廣島
死　森川信敏　廣島
（東）醫　森友豊治　山口
（京）法　李佐熙　朝鮮
（東）工　若林兵滋　廣島

（九）農　池田一美　廣島
（岡）醫　井上雄吾　廣島
（名）醫　片山信　山口
（東北）工　龜石計夫　和歌山
（京）農（大）醫　川居德治　兵庫
（京）醫　久賀俊文　廣島
（京）醫　久保田靜雄　廣島
（大）醫　兒玉安郎　廣島
（九）醫　齋藤章　廣島
（東）醫　酒井皐二　廣島
（京）農　信濃榮　兵庫
（大）醫　清（小日向）英夫　廣島
（岡）醫　高野（小日向）惠　廣島
（大）醫　田中繁巳　廣島
（京府）醫　谷村（米川）清三　廣島
（千）醫　寺崎由太郎　東京
（九）醫　中川太郎　廣島
（京）醫　中川道太朗　滋賀
（九）農　灘光清　廣島
（岡）醫　鍋島清志　廣島
（東）醫　新延信吉　廣島
（名）醫　西原清一　廣島
（岡）醫　新田司郎　廣島
（京）醫　兵頭通方　愛媛
（京）理　藤井正道　廣島
（九）醫　益田霞　廣島
（長）醫　三木征治　福岡
（京）醫　水野宗之　廣島
（東）農　宮鄉吉之助　廣島
（東）農　藥師神嘉雄　愛媛
（千）醫　波邊六郎　愛媛

（第三回）昭和四年三月十日卒業（一八九名）

文科甲類（七三名）

（京）法　青江秀治　岡山
死　池田秀夫　香川
（京）法　淺野巧美　石川
石岡利男　廣島
（神）商　新井吾六　廣島
石川政太郎　愛媛
（九）法文　石光葆　廣島
（京）文　井出岩太　愛媛
（東）經　伊保木啓三　京都
（神）商　植松正久　香川
（東）法　大塚進　廣島
（東）法　岡田勘　廣島
（神）商　小川敬邦　廣島
（京）經　奥村堯　廣島
（京）法　柏木啓一　福島
（東）法（東）經　加藤政一　廣島
（京）文　角野達堂　福井
（京）法　加納利忠　福井
（京）法　龜井邦人　兵庫
（東）法（東文理）　川野（池ノ内）敏夫　岡山
（東）文　河村橘雄　山口
（東）法　河本重藏　廣島
（東）法　菅俊夫　愛媛
（京）經　菊池武雄　福島
（東）經　北村秀雄　大阪
（京）法　木村三郎　廣島
（九）農　小林晢雄　山口
（東）文　佐伯（江本）保　廣島
（京）法　佐久間茂　廣島
（東）經　佐々木邦彥　廣島
（京）法　佐田健一　山口
（京）法　佐野勤　廣島
（東）法　島原健一　大阪
（京）經　妹尾健　廣島
（東）文　高井彌　廣島
（東）經　高垣忠雄　廣島
（京）法　廣橋英明　廣島
（東）經　高山昇　山口
（神）商　竹田平　山口
（東）文　建林正喜　山口
（神）商　水梨彌久　福島
（東）法　寺光忠　廣島
（京）文　永井治郎　廣島
（東）經　中村敏德　廣島
（京）經　中山清二　兵庫
（京）法　灘井嚴　廣島
（東）經　西原眞良　廣島
（東）法　西村勝矣　山口
（神）商　引地富男　廣島
（京）文　久富貢　福岡
（東）文　平田忠敏　廣島
廣實正　廣島
（神）商　深田毅　廣島
（東）經　藤田正夫　廣島
（京）法　船越健二　京都
（京）文　三谷久男三重
（神）商　三戶肇　兵庫
（京）文　向井寬　廣島
（廣）文理　本崎淹己　廣島
（京）經　守谷恒美　廣島

◎卒業生（四）

（東）經　森脇幸次　廣島
（東）法　八木鐵夫　愛媛
（京）文　柳川眞一　兵庫
（東）法　山田秀雄　東京
（京）法　山地秀夫　廣島

文科乙類（三七名）

（京）經　青森和雄　廣島
（九）法文　秋本敏夫　山口
（東）文　飯田秀世　福岡
（京）法　伊藤一郎　大阪
（神）商　井上悌次　香川
（京）經　大下直次郎　廣島
（京）法　大谷志氣夫　德島
（京）經　岡崎俊夫　廣島
（東）法　小田邦美　廣島
（東）法　吉川鼎　廣島

（京）文　山邊諒吉　奈良
（東）法　山本義明　香川
（京）文　湯川龍造　廣島
（京）法　横山文三　廣島
（神）商　吉木一夫　山口

（京）法　國近貞男　廣島
（京）文　藏田藏　福岡
（京）經　倉本剛三　廣島
（京）法　黑河衛　廣島
（京）法　黑田豐次　廣島
（京）經　兒玉士清　廣島
（京）法　酒井節司　廣島
（東）法　坂田正五　廣島
（京）法　篠原憲一　德島
（東）法　關重夫　香川

（京）文　李永植　朝鮮
（京）法　脇本定巳　廣島
（東）文　渡邊哲夫　宮城

（京）經　高屋浩之助　京都
（京）經　立川竹次　廣島
（東）經　鶴見達三　長野
（京）經　寺尾一幹　廣島
（京）經　野口英一　鳥取
（京）文　羽白幸雄　廣島
（京）法　日浦石雄　大分
（東）法　廣中英太郎　山口
（京）法　福本克巳　廣島
（東）文　富士川英郎　廣島

（東）法　寶神嗣雄　廣島
（京）法　正木又男　廣島
（東）法　松山軍一　廣島

理科甲類（三九名）

（京）工　有本欣二　和歌山
（京）農　伊東弘　山口
（東）工業　井上昇　廣島
（岡）醫　大川富雄　大阪
（東）工　奥田周策　廣島
死　小田廣美　廣島
（京）醫　折田良雄　廣島
（廣）文理　木下敏之　廣島
（東）農　金東燮　朝鮮
（東）農　熊野勇喜雄　和歌山
（東）工　黑瀨行義　廣島
（京）理　島田拓示　廣島

（京）文　三登義雄　廣島
（京）法　山形桂太郎　福井
（東）法　和泉博　岡山

（京）農　杉一誠　愛媛
（京）農　高田雄之　廣島
（東）工業　井上昇　廣島
（京）農　谷原一義　廣島
（京）農　玉井英雄　愛媛
（東）農　津田晃　兵庫
（京）農　津田昇兵衛　奈良
（東）農　手島志郎　廣島
（長）醫　德永等　廣島
（廣）文理　中川哲三　廣島
（京）工　西谷民雄　廣島

（京）法　渡邊正巳（才木）　廣島

（京）農　西村文造　廣島
（東）農　野澤正雄　石川
（長）醫　濱口正雄　廣島
（東）醫　林俊吉　愛媛
（京）醫　原穰　神奈川
（東）工　廣段積　廣島
（京）工　福田正雄　廣島
（岡）醫　藤井久吉（田中屋）　山口
（長）醫　藤井正房　山口
（廣）文理　前川力　兵庫
（長）醫　前田實　廣島
（東）農　村上捨巳（正木）　兵庫

死 矢野義雄 京都 一 （京）工 行友誠 廣島 一 （九）工 渡邊襄 廣島

理科乙類（四〇名）

（千）醫 相澤活世 埼玉
（日）醫 青木棟夫 三重
（岡）醫 赤松金四郎 廣島
（京）理 秋光健一 廣島
（京）醫 石丸正勝 香川
（京）醫 稲本晃（數內） 和歌山
（京）醫 上田十郎 三重
（京）理 內田熙（東） 岡山
（九）農 大谷桃太郎 廣島
（東）醫 大村良造 鳥取
（東）理 梶山正登 廣島
（大）醫 片山楠雄 廣島
（九）醫 城戸義人 福岡
（金）醫 栗田有三 廣島

（岡）醫 黑田政之 廣島
（岡）醫 小泉三郎 廣島
（千）醫 兒玉健男 山口
（京）醫 近藤六朗 廣島
（東）農 首藤哲（佐々木） 廣島
死 末岡一男（宗藤） 山口
（九）農 惣津律士 岡山
（東）醫 高津忠夫 廣島
（岡）醫 竹內榮次郎（江藤） 愛媛
（京府）醫 田中哲之助 鳥取
（京）農 田埈俙（菜基） 朝鮮
（岡）醫 中村熊三 岡山
（京）醫 名迫行弘 和歌山
（九）醫 名和田豊 山口

（東）醫 西原敏男 廣島
（東北）醫 日比定雄 岐阜
（岡）醫 平本憲雄 廣島
（東）醫 藤岡定 廣島
（岡）醫 松森哲夫 廣島
（名）醫 丸山賴人 廣島
（京）醫 盛岡健一 德島
（岡）醫 森正久 廣島
（京）農 森田修二 滋賀
（長）醫 山木戸貞道 廣島
（九）醫 渡邊琢一 愛媛
（岡）醫 和田直 京都

（第四回） 昭和五年三月十日卒業（一六八名）

文科甲類（七一名）

（東）經 有本正男 和歌山
（京）法 池田業男 山形
（東）法 井出武忠 廣島
（東）經 井東正一 廣島
（東）經 井上數夫 大分
（東）經 江崎猛 愛知
（京）文 榎並敏春 廣島
（神）商 煙石隼人 廣島
（東北）法文 大川正雄 東京
（京）法 大澤隆清 兵庫
（京）法 太田屹 岡山
（東）文 大谷秀水 福岡
（京）經 岡田敏雄 香川
（京）文 岡田壽之 廣島

（東）經 越智岩夫 愛媛
川合稚久 廣島
（東）法 加島淳 廣島
（京）經 神下勝 香川
死 神野止戈雄 愛媛
（東）法 窪田智 鹿兒島
（東）法 栗山醇三 奈良
（京）文 小島勝 廣島
（京）文 小寺政太郎（片桐） 京都
（東）法 齋藤陽 京都
（京）法 齋藤榮三 大阪
（東）法 齋藤貞實 岡山
（東）法 佐久間光三（田原） 廣島
（東）文 佐々木亮（中原治） 廣島

（東）法 城整吾 廣島
（東）文 菅好雄（加藤） 廣島
（神）商 惣野影 廣島
（九）法文 高橋伸輔 岐阜
（東）法 高橋靖彥（池田新作） 廣島
（京）法 武居政夫 長野
（京）文 田坂實 廣島
死 玉置道夫 鹿兒島
（東）文 田村清 廣島
（東）法 土屋忠一 岡山
（京）法 鄭四燮 朝鮮
死 寺川幸男 廣島
（京）法 寺原秀正（酒井） 北海道
（東）文 所武雄 岐阜

◎卒業生（五）

（東）法　水島　勉　兵庫
（廣）文理　戸田茂喜　廣島
（東）文　中山　清　山口
死　中島隆次　佐賀
（東北）法文　難波　正　岡山
（東）文　南　相塾　朝鮮
（東）法　西龜元貞　廣島
（東）經　原田正行　廣島
（東）法　平地寛次　廣島
（東）文　藤井達之　廣島
（東）文　馬淵　茂　福岡

文科乙類（三七名）

（東）文　相澤孝友　埼玉
（東）法　足利義包　岡山
（東）法　荒木正保　東京
（京）法　伊藤譲爾　廣島
（東）經　加藤（下村）莽　廣島

（京）法　川上房名　福井
（東）文　木本欽吾　廣島
（東）文　久保隆美　香川
（東）法　倉本明　廣島
（神）商　古武彌彦　岡山

（京）法　村上仁人　廣島
（東）經　安信良二　廣島
（東）文　柳　正實　福岡
（京）文　山崎喜好　廣島
（東）法　山田正隆　福井
死　山本實雄　廣島
（京）文　遊龜山英隆　廣島
（東）法　横山信之　廣島
（東）法　吉倉健治　山口

（京）文　近藤　忠　大分
（東）文　佐々木利雄　山口
（東）文　重野英夫　廣島
（東）經　柴村万徳　廣島
（東）法　鈴木信次郎　廣島

（東）文　妹尾泰然　廣島
（京）經　高橫　渉　廣島
（東）經　瀧口參男　千葉
（東）法　瀧野好曉　廣島
（京）法　立花俊雄　北海道
（東）文　田中保隆　山口
（京）法　千種虎夫　高知
（東）法　長戸寛美　東京

理科甲類（三四名）

（京）法　中村清次郎　大阪
（東）經　中山英一　滋賀
（京）經　平瀬敏夫　廣島
（東）法　藤井英麿　廣島
（京）文　藤谷　賜　愛知
（東）文　水野忠敏　香川
（京）法　三宅善三　大阪

（東）經　三宅保之　廣島
（京）法　宮宗俊二　廣島
（京）經　森　俊二　愛媛
（東）法　安田　巖　廣島
（東）經　山根泰二　廣島
（京）法　吉村三次　廣島

死　寺松民也　廣島
（九）工　荒木義彦　廣島
（東）醫　石田二郎　愛媛
（京）工　伊藤英一　東京
（東）工　岩宮　登　廣島
（京）工　小原　誠　東京
（東）工　勝田敏治　廣島

◎卒業生（五）

（京）農　紀藤喜男　愛知
（京）農　金東（大澤）煜　朝鮮
（京）理　小池富男　廣島
（京）農　金野逸郎　宮城
（京）工　佐伯精之　廣島
（東）工　篠原敏夫　東京
（京）農　志茂山貞二　京都

（九）工　杉江重雄　大阪
（東）工　數納勤郎　廣島
（京）工　竹中英三郎　和歌山
（京）工　多田義雄　廣島
（京）經　伊達亟夫　廣島
（東）工　玉木福宜　廣島
（京）工　塚本成之　大阪

(京)工 西川政一 大阪
(京)工 野間元誠次 廣島
廣田春一 廣島
(九)工 福井經彥 廣島
(東北)理 松本彊 廣島

(東)農 南方四郎 和歌山
(長)醫 三原德美 廣島
(東)理 三宅(伊達)修三 廣島
(京)工 八木貞之助 京都
(九)醫 山縣泰 山口

(京)農 湯川半三郎 京都
(京)工 吉井隆 熊本
李明熙 朝鮮

理科乙類（二六名）

(京)醫 青木久司 廣島
(京)醫 蘆田又四郎 京都
(千)醫 蘆原(西垣)貞男 廣島
(熊)醫 荒瀨俊輔 廣島
(京)醫 池田接治 廣島
(千)醫 今井岸眞 廣島
(京)醫 植木保生 廣島
(京府)醫 大槻俊雄 愛媛
(千)醫 久賀冬鯉 廣島

(京)醫 柴田敏夫 山口
(岡)醫 高橋勳 廣島
(九)醫 土屋薫 廣島
(岡)醫 新本勇夫 廣島
(長)醫 萩島茂 茨城
(岡)醫 原良太郎 廣島
(大)醫 福永融 廣島
(東)醫 藤卷直意 新潟
(東北)醫 前川重和 和歌山

(岡)醫 前田哲夫 岡山
(京)農 桝田忠雄 大阪
(大)醫 松田鎭雄 廣島
(京)醫 湊正男 秋田
(岡)醫 宮地重樹 廣島
(東)醫 宮本明道 廣島
(九)醫 本永正樹 廣島
(京)醫 吉田清史 京都

（第五回）昭和六年三月十日卒業（一八六名）

文科甲類（七八名）

(京)經 青森規矩二 廣島
(東)法 赤木二郎 廣島
赤松正一 廣島
(東)經 朝技誠兒 廣島
(京)法 東秋郎 廣島
(東)經 荒川矼介 廣島
(京)法 石岡二郎 廣島
死 石橋實 三重
(神)商 板野(柘植)龜八郎 岡山
(京)法 井上光親 愛知
(九)法文 井上稔 廣島
(京)經 今村眞三 廣島
(京)文 岩田良美 廣島
(京)法 植田憲六 廣島
(京)經 上野淳一 大阪

(京)文 浦元芳一 兵庫
(京)文 扇畑忠雄 廣島
(京)法 大小田常夫 廣島
(京)法 大坪喜代太郎 佐賀
小川達哉 廣島
(東)法 岡榮 廣島
(京)經 沖藤省三 廣島
(京)法 沖原東平 山口
(東)文 長田龍 山梨
(東)法 織田恒 廣島
(東北)法文 東經 小田二郎 山口
(東)文 加納秀夫 廣島
(京)法 龜田迪昌 廣島
(京)經 川口隆三 大阪
(京)法 韓雄吉 朝鮮

(廣)文理 栗田正治 愛知
(京)文 河野信一 廣島
(東)法 河野達吾 廣島
(東)法 小谷鶴次 兵庫
(東)經 小橋博志 岡山
(東)經 齋藤武夫 廣島
(京)文 佐伯隆研 廣島
(京)經 白石通一 愛媛
(東)法 杉田亮造 廣島
角井迪 山口
(東)法 妹尾茂喜 廣島
(東)法 大道寺好武 三重
(東)文 高橋和夫 岐阜
(東)經 田坂猛 廣島
(京)經 棚田新一 廣島

（東）法　辻村仁三郎　山口
（廣）文理　辻　茂雄　廣島
（京）経　土井　悟　廣島
（京）法　富田達夫　山口
（京）法　豊岡（倉重）勳三　廣島
（東）法　中井孝夫　廣島
（東）文　中島　清　廣島
（東）法　中塚健治　香川
（東北）法文　中西　晃　鹿兒島
（東北）法文　永野鎭雄　廣島
（京）法　中本　登　廣島
（東）文　中山照夫　廣島
（東）法　長山利久　廣島
（廣）文理　名田清志　廣島
（京）経　野田（佐々木）益　廣島
（東）文　平川篤雄　廣島
（京）法　藤田利基　廣島
（東）経　藤山（山崎）千里　山口
（京）法　下沃柱朝鮮
（神）商　堀川武雄　廣島
（京）法　前田雄恭奈良
（東）経　松浦清次郎（吉永）　廣島
（京）文　松岡秀男　山口
（東）文　三上則威　山口
（東）経　三宅瑞彦　兵庫
（京）文　宮本壽　廣島
（京）文　宮本喜一郎　廣島
（京）法　藻鹽一海　廣島
（京）文死　守田省三　廣島
（東）法　安永隆　山口
（神）商　山肩正夫　廣島
（東）文　若山農　廣島
死　渡邊三彌　山口

文科乙類（四二名）

死　生田司　大阪
（京）法　植月勇　岡山
（廣）文理　上村勇　廣島
（東）経　大江元　廣島
（京）法　大竹勝二　茨城
（東）経　岡崎清記　廣島
（京）法　岡村乾三　廣島
（京）法　小川清　兵庫
小田生一　廣島

（東）法　河相實　廣島
（東）法　梶川榮一　廣島
（東）法　河村（赤木）弘　山口
（東）文　神田道弘　廣島
（京）法　木坂登一　廣島
（東）経　河野應介　廣島
（京）法　兒玉彊作　廣島
（京）経　後藤（中村）昇一　岐阜
（廣）文理　後藤武彦　大分
（東）文　小西四郎　茨城
（東北）法文　古橋（齊藤）進　島根
（京）経　島井徹三　廣島
（京）法　申畑圭朝鮮
（京）法　高井時雄　兵庫
（京）文　多田（大栗）傳三德　島
（京）経　田中清　愛知
（東）経　玉岡忍　廣島
（京）法　增原改暦　廣島
（京）文　三浦廣吉　愛媛
（東）経　向井生三　廣島
（神）商　芳永和雄　兵庫
（東）法　好並健司　岡山
東文　濱田榮　廣島
（東北）法文　福田史郎　山口
（東）文　藤井次郎　廣島
（京）経　古野升　大阪
（東）経　星出普太　山口
（京）法　寺本正文　廣島
（京）文　富和宗一　奈良
（東）法　永井純三　廣島
中道幸雄　山口
新田（倉本）養三　廣島
花田起志二　岡山

理科甲類（三三名）

（岡）醫　淺川秀夫　京都
（九）工　市田左右一　兵庫
（九）農　井上由扶　廣島
（東）理　江藤秀雄　東京
（東北）工　大島景次　東京
死　岡順一　廣島
（京）農　岡川吉富　京都
（東）工　影浦正俊　愛媛
死　川崎貞雄　廣島
（東北）工　神谷六郎　東京
死　木谷（磯部）賢莊　廣島
（京）工　北村市太郎　大阪

◉卒業生（六）

（九）農　熊谷秀逸　廣島
（東北）理　小崎正秀　愛媛
（京）理　坂本靜雄　廣島
（千）醫　澤井豊之助　奈良
（東）農　田中三郎　福岡
（東）理　津山尚　廣島
（東）工　中村常雄　廣島

理科乙類（三三名）

（岡）醫　秋山賴光　廣島
（長）醫　天野俊雄　山口
（京）醫　池田勉　廣島
（千）醫　金子一夫　山口
（東）農　加納靜三　廣島
（東）理　黒川清　廣島
熊醫　高在珣朝鮮
千醫　古賀公一　福岡
（京）農　橋谷晃　北海道
（九）工　橋爪透　青森
（京）工　東原二郎　大阪
（東）工　藤井義六　廣島
（東）工　藤野淳　愛媛
（東）工　三上良臣　佐賀
（九）工　水山嘉德　廣島
（東）農　三宅正　廣島
（九）工　村上敏夫　愛媛
（東）工　森佐一郎　廣島
（大）工　山田隆次　廣島
死　山本恒雄　廣島
（東）工　横田浩一　廣島
（京）醫　吉田彌太郎　兵庫

（東）醫　兒玉國美　廣島
（大）醫　佐伯安男　廣島
（東）理　庄山俊夫　三重
（金）醫　高橋卯　愛媛
（九）醫　竹野內政男　廣島
（長）醫　玉井靜顯　廣島
（新）醫　田原（望月）紀之　廣島
（東）農　檀上勉　廣島
（京）理　塚本二郎　愛媛
（京）工　津村宗治　兵庫
（熊）醫　畠田谷武夫　廣島
（慈）醫　馬場英雄　廣島
（東北）理　濱井生三　廣島
（京）理　濱田穰　岡山
（東）醫　檜脇信三　廣島
（岡）醫　福永光夫　廣島

京醫　細川卓郎　廣島
（大）醫　牧野幸男　香川
死　松浦喜佐雄　廣島
（千）醫　松原悟朗　山口
（岡）醫　三島利雄　廣島
（九）醫　宝谷高正　兵庫
（京）醫　矢崎貞雄　山梨
（大）醫　弓場（川島）正史　廣島
死　横山智　廣島

（第六回）昭和七年三月十日卒業（一七二名）

文科甲類（六九名）

（東）經　天野利夫　兵庫
（東）經　荒川政司　東京
（東）文　石原直溫　岐阜
（京）經　稻葉好夫　三重
（京）經　井上清　山口
（京）法　入江仁士　廣島
（廣）文理　岩佐正澄　德島
（京）文　大谷篤藏　鳥取
（京）法　大西喜四夫　奈良
（京）法　岡本淳　和歌山
（東北）法文　落合龍太郎　秋田
死　加藤祥一　愛媛
（京）經　金尾晃　廣島
死　北口倉太三重
（東）經　北山康夫　和歌山
（京）文　木寺道輝　長崎
（京）法　木下泰雄　廣島
（東）經　京極覺郎　廣島
（京）法　國安信夫　廣島
（京）法　黒瀨春樹　廣島
（東）經　桑垣二郎　島根
（東）法　古宇田芳夫　茨城
（京）法　河內山督治　山口
死　黃榮法　臺灣
（東）經　兒島俊太郎　兵庫
（東）文　小沼正　廣島
（京）法　齋藤義雄　岡山
（東）法　櫻田靜務　廣島
死　佐々木秀二郎　島根
（京）法　椙村一男　千葉

◉卒業生（七）

（京）經　清木一雄　山口
（東）法　瀬戸茂　廣島
（京）法　高野增雄　福岡
（京）法　田中肇　山口
（東）法　田中秀夫　山口
（京）經　戸谷和夫　岡山
（京）法　富田親長　熊本
（東）法　豊原信夫　廣島
（東）經　中秀男　和歌山
（京）文　中谷英雄　和歌山
（京）法　中野守　廣島
（京）法　中野弘　和歌山
（京）文　鍋島俊成　熊本
（京）文　西原順次郎　大阪

文科乙類（三五名）

（東）文　飯田信光　福岡一
（京）經　大川忠一郎　靜岡
梅林正明　愛媛一
（東）經　大原榮一　廣島
（京）法　岡信彥　和歌山
（神）商　奥田（栗栖）勇　廣島
（東）經　小田正二　岡山
（東）法　加藤豪　和歌山
（東）法　金友芳　廣島
（京）法　久保誠　廣島
（京）法　孝壽芳春　香川
（東）法　後藤穗　廣島
（京）法　近藤照彥　廣島
（京）法　齋藤實　岡山
（東）法　杉本行雄　廣島
（京）文　瀧川武　兵庫
（東）文　龍山無逸　廣島
（京）法　土井義生　廣島
（東）法　東岡義人　廣島
（東）文　內藤寶　山梨
（京）法　中村卓　廣島
（京）文　西毅一　島根
（東）文　西原茂正　廣島
（京）文　秦恒雄　廣島
（京）法　濱田正義　大阪
（京）文　原倘武　岡山
（京）文　藤野涉　愛媛
（東）法　古川一郎　福島
（東）法　本田忠德　廣島
（東）文　松井忠夫　福岡
（京）法　三宅季二　香川
（京）文　村上次男　山口
（京）文　森本新三　和歌山
（東）文　米本三爾　廣島
（京）法　柳瀨篤　和歌山
（東）法　根津信夫　廣島
（廣）文理　埜田淳吉　廣島
（京）經　能登孝雄　廣島
（京）經　信江孝一　岡山
（東）文　平井政忠　廣島
（京）文　平田泰美　廣島
（東）經　山戸壽也　廣島
（京）文　山元憲治　山口
（九）法文　結城秋市　廣島
（京）文　湯河孔憲　廣島
（京）法　橫山（神部）示　廣島
（廣）文理　劉亨植　朝鮮
（京）經　山形正雄　廣島
（京）法　山口清　東京
（京）經　山崎薰　京都
（東）文　山崎久之　廣島
（東）經　山戸壽也　廣島
（京）文　山元憲治　山口
（九）法文　結城秋市　廣島
（京）文　湯河孔憲　廣島
（京）法　橫山（神部）示　廣島
（京）經　劉亨植　朝鮮

理科甲類（三四名）

（千）醫　相磯和嘉　靜岡
（大）醫　秋山和躬　德島
（京）理　東堯　東京
（京）農　伊藤健　廣島
（岡）醫　井野昌治　千葉
（廣）文理　今中安直　熊本
（大）醫　小上（後藤）爲治　和歌山
（大）理　楠本健次　長崎
（京）理　國近三吾　廣島
（東）工　玄道正夫　廣島
（九）醫　河野勇　廣島
（九）工　壁谷一馬　廣島

（大）醫　杉浦達也　愛媛
（東）醫　鈴木胖　靜岡
（金）醫　谷（尾山）芳雄　富山
（京）醫　近清憲一　德島
（大）工　土田稔　廣島
（東）工　津山滋　廣島
（漢）醫　鶴崎敏胤　佐賀
（九）醫　福岡徹　廣島

理科乙類（三四名）

（長）醫　井內猛　山口
（京）醫　生駒一彥　岐阜
岩橋武　和歌山
（熊）醫　上野功　和歌山
（千）醫　江澤義彥　千葉
（慈）醫　太田肇　廣島
（新）醫　大日方惟信　千葉
（大）醫　岡田五郎　廣島
（京）農　小鹽正　廣島
加賀美和忠　廣島
（岡）醫　門英雄　廣島
（長）醫　金武（山元）三良　高知
（九）農　河口清　廣島
（東）醫　國友鍠一　宮城
（九）醫　河野和彥　廣島
（九）醫　河野義光　廣島
（岡）醫　崔聖東　朝鮮
（岡）醫　眞田實　廣島
（京）醫　大德幸夫　廣島
九農　高橋浩之　廣島
（大）醫　田川（服部）悅郎　長崎
（東）農　藤岡恒一　奈良
（京）工　藤本悟郎　香川
（京）農　星野修　大阪
（東）理　堀江忠男　大阪
（大）理　前田光　廣島
（京）工　間片泰平　三重
（京）農　松平信治　京都
（東北）工　松村隆樹　茨城
（大）理　三戶佐內　廣島
（大）工　三好正　廣島
（京）農　六車正實　香川
（廣）文理　村上滿洲男　廣島
（九）工　森堅太郎　廣島
（京）工　森恒忠　高知

（東）醫　館林宣夫　長野
（熊）醫　田中明　岡山
（岡）醫　土居清　廣島
（大）醫　土井傳三重
（東）工　土肥元二　廣島
（九）醫　中濱欣時　廣島
（大）醫　中村覺　廣島
（長）醫　西田滋　山口
（慈）醫　原田東良　廣島
（大）醫　藤本磐　山口

（第七回）昭和八年三月十日卒業（一七七名）

文科甲類（七五名）

（京）法　秋山連大夫　兵庫
（京）法　淺賀秀夫　岐阜
（京）文　飯塚俊夫　島根
（京）經　飯森十郎　福岡
（東）法　井下田孝一　千葉
（東）法　井上武雄　岡山
（東）法　入澤敏三　鳥取
（京）經　上田勇男　廣島
（京）法　上野友男　廣島
（東）法　上野秀夫　山口
（京）文　榎一治　福岡
（京）法　大藤義人　山口
（東）經　大屋五郎　福岡
（京）法　小方友二　山口
（東）文　小倉裕　京都
（京）經　折田義男　廣島
（東）法　海田稔　山口
（東）法　柏村壽雄　廣島
（京）法　金森俊雄　島根
（東）法　鎌田道洋　庵兒島
（京）法　川口博　廣島
（京）經　韓熙穆　朝鮮
（東）文　菊池謙一　和歌山
（東）文　久保良敏　佐賀
（熊）醫　宮崎（石井）四良　廣島
死　八木武博　廣島
（東）工　吉野宗次郎　滋賀

（東）經　黒田一雄　岡山
（神）商　河野正迪　廣島
（東）經　小西浩三郎　廣島
（東）經　財津孝正　東京
（東）經　坂口潔三　重
（東）經　定村直之　福岡
（廣）文理　眞川淳　廣島
神　商　七田正夫　佐賀
（京）法　徐廷植　朝鮮
（東）法　杉田有三　重
（京）法　杉若義一　和歌山
（京）法　鈴木幹雄　廣島
東　法　妹尾正一　岡山
（東）經　關口伊三郎　東京
東　文　高橋啓介　大阪
（京）經　高橋義夫　廣島
死　高橋嘉猷　廣島

（東）法　竹内正男　靜岡
（京）經　寺地訓造　廣島
（京）法　德永善造　熊本
（廣）文理　鳥越良雄　山口
東　文　内藤陽二　廣島
（東）法　中埜幸雄　京都
（京）法　二木雅美　廣島
（東）經　西村正藏　廣島
（東）法　野口芳明　兵庫
（東）文　荻野源一　山口
（東北）法文　橋本吉之助　廣島
（京）經　原田公平　兵庫
（東）法　平松謙一　三重
（京）法　廣渡浩美　福岡
（京）經　福内政郎　三重
（神）商　山登一男　廣島
（京）經　山本薫　廣島
（京）法　渡邊信　大分

（東）經　藤岡春彦　東京
（京）經　朴炳教　朝鮮
（神）商　本庄正夫　兵庫
（九）法文　眞武豐實　福岡
（京）經　萬竹清　山口
（東）法　御澤金彌　大阪
（京）法　光田幸夫　山口
（京）法　宮重左都夫　愛媛
（神）商　保田歡三　愛媛
（東）法　矢野久元　大分
（京）法　山木稔　廣島
（京）經　山口文吾　廣島
（東）法　山崎茂　廣島
（京）法　山下保一　岡山
（神）商　山登一男　廣島
（京）經　山本薫　廣島
（京）法　渡邊信　大分

文科乙類（三一名）

（東）經　青木健　山口
（京）法　青盛卓郎　廣島
（京）法　石井義彦　岩手
（東）法　今澤正躬　香川
（東北）法文　岩上幸治　栃木
（京）文　植村文夫　三重
死　撰司郎　廣島
（京）文　香川正信　香川
（京）法　笠島重勝　東京
（京）法　樫田忠敬　東京
（京）法　河合庄之進　奈良

（九）法文　久保田明治　廣島
（京）法　小松原克之　廣島
（東）法　佐藤忠雄　廣島
（京）經　澁谷龍雄　東京
（廣）文理　清水潔　廣島
（京）法　住吉勇　廣島
（廣）文理　高瀨隆　兵庫
（京）法　長岡迪夫　廣島
（京）經　永野萬壽夫　佐賀
（京）法　鍋島廣文　佐賀
（東）經　林新　綠　廣島

（神）商　久林文芳　兵庫
（京）經　藤井權三　廣島
（東）法　古島公明　埼玉
（京）經　堀江正治　長野
（廣）文理　水野司郎　廣島
（京）法　村上淳一　鳥取
（廣）文理　八林秀三　廣島
（京）法　山口圭一　和歌山
（京）經　山崎荒助　廣島
（京）法　和氣清胤　東京

理科甲類（三一名）

（東）工　井口達三　岡山
（東）工　今井修之　廣島
（京）工　上荷敬一　大阪
（東）農　岡藤敬一　山口

九　工　久芳祥一　福岡
（京）工　小日向定夫　東京
（京）工　佐々木茂　廣島
（京）理　篠野通德　島

（九）工　鹽谷龍二　山口
（京）工　宍戸二郎　廣島
（京）理　杉森（淺野）和夫　京都
（京）工　鈴岡奬　廣島

◎卒業生（八）

（大）工　鈴木　正北海道
（東）工業　高橋清毅廣島
（名）醫　高見　薫鳥取
（東）工　多幾山一敏廣島
（東）工　丹下健三愛媛
（京）工　筑瀬　慥奈良
（九）工　堤　頴雄廣島
（東）工　富野井　正廣島
（東）工　中城忠彦高知
（長）醫　中山一宏島根
（京）理　西垣正彦京都
（東）工　林　茂樹廣島
東北醫　林　克巳東京
（東）工　三戸義則廣島

理科乙類（三九名）

（東）理　荒木久一寅山
（東）農　伊藤健治山口
（名）醫　稻本　眞和歌山
（九）醫　内村正雄和歌山
（大）醫　大杉哲三廣島
（長）醫　岡村豪二廣島
京醫　梶山茂信廣島
（長）醫　嘉戸　剛島根
（名）醫　久島諦二山形
（九）醫　河野正三郎廣島
（長）醫　古城朝彦大分
（熊）醫　坂井皐造廣島
（大）醫　作田確次郎三重
（長）醫　佐々木英信香川
（熊）醫　佐藤眞次廣島
（東）農　信夫洋太郎宮城
（九）農　蜂　恭平長崎
（東）工　村本忠夫廣島
（京）理　矢木次郎東京
（東）理　横井鎭男廣島
熊醫　吉田紀行香川
（大）工　庄司春陸廣島
（千）醫　鈴木　敏千葉
（熊）醫　曾　人樸臺灣
（九）法文　高橋　渡廣島
（長）醫　竹本　寛廣島
（名）醫　近森正文高知
（東）農　長郷鮮一東京
（大）醫　友淵又右衛門大阪

名醫　諷島　琢廣島
（東）理　藤井正一兵庫
（岡）醫　藤本　遼廣島
（九）醫　三村光男岡山
（東）醫　村上元孝廣島
（岡）醫　村上基千代廣島
（東）農　望月省次山梨
（熊）醫　森末信行岡山
（九）醫　森田愛之廣島
（東）醫　森田專一（吾河）廣島
（大）醫　安原鱗太郎廣島
（東）理　養祖貞夫廣島
岡醫　横路慶英廣島
（東北）醫　渡邊　彰秋田
（大）醫　渡邊六郎（寺野）廣島

（第八回）昭和九年三月十日卒業（一八四名）

文科甲類（七八名）

（京）文　足立　主兵庫
（神）商　穴吹光次郎廣島
（東）經　井澤　馨東京
（京）法　石田保三廣島
（京）法　伊藤國臣島根
京法　岩本幹三廣島
（京）法　碓井薫次廣島
（廣）文理　内田三士岡山
（東）文　潤間道一山口
（東）文　上森　齊岡山
（東）經　太田勝三廣島
（京）文　黄地　勉廣島
（京）經　大野喜久廣島
（東）法　岡本　豹廣島
（京）文　岡本　悟廣島
（東）經　沖田恒男廣島
（神）商　小田謹一廣島
京經　加川正行廣島
（九）法文　金井利博廣島
東法　菊坂堯雄愛媛
（京）經　木田　靖奈良
（京）文　北村信男廣島
（神）商　木村　守廣島
（京）法　草木榮次郎廣島

◎卒業生（九）

◎卒業生（九）

（東）法　紺田俊雄　熊本
（神）商　財滿功　廣島
死　鹽見正三　島根
（京）文　島居清　廣島
（神）商　島津義夫　島根
（東）法　須賀井敏行　廣島
（京）經　杉田虔二　廣島
（京）文　世古正文　三重
（京）法　高世日出男　東京
（東）經　高田甚宗　廣島
（東北）法文　高曲敏三　廣島
（東）法　帶刀正雄　島根
（東）文　長享　廣島
（東）法　辻由明　廣島
（京）農　津邱正敏　大阪
（東）法　豐島邦生　山口
（京）經　中井英智　廣島

（京）文　中江健　岡山
（京）文　永島孝雄　山梨
（京）法　仲島守　廣島
（東）經　中田光五郎　兵庫
（京）文　中峠國夫　廣島
（東）法　中根肇夫　靜岡
（京）農　中林孝文　三重
（東）法　中村克正　廣島
（京）經　中村數夫　廣島
（京）文　新出政雄　廣島
（京）經　西俣（金澤）信比古　奈良
（東）法　原井仲太郎　廣島
（東）文　原田芳夫　廣島
（東）文　原田清　廣島
（東）經　原田隆　熊本
（東）文　末男　廣島
（京）文　棉重隆　廣島

（東）文　疋田英肇　廣島
（京）文　日高一　鹿兒島
（東）文　廣本善次郎　廣島
（東）經　福永陽二　廣島
（東）法　福永忠秋　廣島
（京）法　福原靜男　廣島
（東）經　藤村敏夫　大分
（東）法　古川二郎　福島
（東）法　細川正美　鳥取
（京）文　松浦道一　廣島
（京）經　松本旭　廣島
（東）文　三宅守一　岡山
（東）法　村上一　島根
（京）文　森川富治　奈良
（東）經　森本信雄　廣島
（京）文　山本（登）證道　廣島
（東）經　山本正三　神奈川

東法　横田八郎　廣島　一

（東）法　横山正臣　廣島　一

（京）文　和田義人　廣島

文科乙類（三三名）

（廣）文理　蒲池文雄　熊本
（京）文　清原宣雄　大分
（東北）法文　國森光夫　山口
（東）法　黑田達也　廣島
京法　坂本義光　廣島
（京）法　島谷一郎　大阪
（東）文　末田修一　廣島
（東）文　鈴木達也　廣島
（東）文　鈴木一　秋田
（東）法　砂堀明　廣島
（東）法　高橋一次　廣島

東法　田川博三　廣島
（神）商　辻（水田）輝久　大阪
（京）法　中野正治　愛媛
（東）文　西順藏　鳥取
（京）法　西野寬次郎　德島
（東）文　原田正典　山口
神商　福永拓造　廣島
（東北）法文　藤本洋　廣島
（東）文　山手光　廣島
（東）法　吉岡新　山口
（神）商　吉田兼男　德島

理科甲類（四〇名）

（京）工　生田努　山口　一
（東）工　石田茂　廣島　一
（京）理　稻次悌二　兵庫

◎卒業生（九）

◉卒業生（九）

（東）工　上野　勇　廣島
東工　大島　侃　廣島
（京）理　大坪朝男　佐賀
（京）工　岡村誠三　山口
（東北）工　晉谷登平　廣島
（京）工　竝石　正　岡山
（京）工　河合泰治　兵庫
東理　吉川義三　島根
（東）理　久保　光　廣島
（東）農　子幡弘之　廣島
（東）工業　近藤芽美　廣島
死　坪井正二　廣島
（京）工　佐々木毅一　山口

大工　鈴木精一　東京
大工　辰野正登　廣島
東工　田邊健二　廣島
東工　寺光　昇　廣島
東工　中野由巳　廣島
（溝落）野田泰雄　廣島
東工　藤本五雄　廣島
東工　濱野啓一　山口
（東）工　原　時男　廣島
東理　東原　朗　大阪
東工　久柴伊代治　長崎
東工　平本新正　廣島
東工　保木久雄　山口

理科乙類（二三名）

千醫　伊藤　彰　廣島
（京）醫　岩堀嘉治　福井

（東）經　上康康夫　廣島
（京）醫　右近文三　廣島

（東）工業　前川良三　廣島
（大）工　丸子一雄　福岡
死　水谷良三　廣島
（京）工　三田　章　兵庫
大理　皆川多喜造　大阪
（京）農　森　乾六　滋賀
（九）工　安武　明　熊本
東理　山田久夫　東京
（京）工　山田　弘　廣島
東工　横竹太郎　廣島
（東）工　渡邊省三　廣島

京醫　小川　肇　香川
（大）醫　尾崎　脩　新潟
（東）理　尾澤朝一郎　愛媛
京理　尾曾越文亮　廣島
（東）醫　景山博文　廣島
京醫　門　信雄　廣島
（東）工　藏野克巳　山口
（熊）醫　小王康彥　岡山
（京）工　金春眼藏　廣島
九醫　佐々木　弘　廣島

岡醫　益田義行　廣島
長醫　水木　博　山口
（九）醫　水野　博　新潟
（大）醫　宮地　徹　廣島
（京城）醫　武藤　明　福岡
（九）醫　吉永一郎　廣島
（九）醫　芳野　滋　山口
（岡）醫　和田錬作　岡山

（第九回）昭和十年三月十日卒業（一五四名）

文科甲類（六二名）

京法　赤坂正義　廣島
（東）法　安部哲郎　廣島
（東）經　石井規矩男　廣島

（京）經　石田　貢　廣島
東法　井上　衛　廣島
（東）文　岩永（片桐）博　廣島

（東）經　上田廣江　廣島
（東）經　牛尾重信　廣島
神商　大内義仁　廣島

◉卒業生（一〇）

◉卒業生（一〇）

（京）經　大志万敬寧　京都
（東）經　大杉俊郎　廣島
（東）法　大田盛三　廣島
（東）經　沖博　廣島
東法　片山壯衛　山口
（京）經　勝谷喜久三　廣島
東文　木村正孝　兵庫
（東）經　熊井清　大阪
（京）經　黒木正　廣島
（東）經　河野正義　廣島
（京）經　小谷和成　鳥取
（東）法　小林七郎　山口
（廣）文理　近藤博之　廣島
（京）法　酒井壽尚　廣島
（東）法　堺正一郎　東京
（京）經　佐方正　廣島
（東）經　坂本政一　廣島

（京）法　佐々木惠一　山口
（神）商　白石秀男　廣島
東法　杉村灑　愛媛
死　鈴岡イ枝　廣島
（廣）文理　高橋俊彦　廣島
（京）農　田口昌弘　茨城
（京）法　竹内庚太郎　岡山
東文　多田正男　廣島
（九）法文　田中宗夫　山口
（京）法　土井田（村田）登　廣島
（廣）文理　東間善明　廣島
（京）法　戸田勝　廣島
死　頓田克美　廣島
（京）經　安田義彦　廣島
（東）法　中島史郎　岡山
（東）文　中森增三　大阪
（京）經　屋長敏郎　廣島
（東）文　西岡康之　廣島

（東）法　西田俊道　山口
九法文　服部了治　廣島
（京）經　原仁　鳥取
（神）商　廣波恒美　福岡
（東）經　福島滿　愛媛
（東）經　藤田五郎　京都
京文
（京）經　三佐尾正二　廣島
（京）文　光成太郎　廣島
京法　宮川亨　廣島
（東）法　森義雄　廣島
（廣）文理　森田正三　京都
（京）法　森田正　廣島
死　門田積　廣島
（京）經　山田（福山）守　廣島
（東）文　横田正次　愛知
（京）經　横田整三　廣島
（東）文

（東）法　李燧煤　臺灣
（京）經　渡邊知正　山口

文科乙類（三一名）

（京）經　淺賀正夫　岐阜
東法　荒木武　廣島
（東）文　飯村聯東（紀）　臺灣
死　片山信之　德島
東法　上川洋　廣島
（東）法　倉元百太郎　廣島
（京）法　小見山博　京都
（京）法　佐崎英友　山口
京經　妹尾盛男　廣島
神商　高倉善兵衛　大阪
（東）法　高田治一郎　廣島

（東）法　塚田俊夫　群馬
（東）經　中丸傑　廣島
（東）文　新田素直　廣島
（東）文　貫井民治　廣島
（京）經　林太郎　兵庫
（京）法　檜原彌久　廣島
（東）文　兵頭進　愛媛
（東）文　平岡四郎　廣島
（京）法　廣田豪佐　大分
（九）法文　福久清　山口
（京）法　松島博　廣島

（東）法　松本清　廣島
（東）經　丸城浦男　愛媛
（東）文　宮川政　廣島
（東）文　向井義郎　廣島
京法　森保祐光　廣島
東法　山內一男　廣島
（東）文　山本利　廣島
（東）文　吉田一　大分
（東）法　吉松丑治　山口

理科甲類（三〇名）

京醫　石榑繁　岐阜一（九）工　江良貞夫　山口一東工　大原誠作　兵庫

◉卒業生（一〇）

◉卒業生（一〇）

岡醫　岡村岩男　兵庫
東農　川谷豊彦　大分
（東）理　木藤正典　山口
東農　木村正昭　廣島
京工　坂本清　島根
（京）工　佐川秋人　廣島
東工・大工　清水洋三　廣島
大工　白石登　愛媛
九醫　炭田春雄　廣島

理科乙類（三一名）

（長）醫　秋吉英彦　大分
東農　蘆田淳　兵庫
（京）醫　飯田襄治　廣島
（九）醫　稻富清　福岡
（東）醫　大村敏　兵庫
大醫　岡田正二　岡山

岡醫　尾越俊三　廣島
東農　兼廣正三　山口
（京）醫　高路勉　廣島
九醫　坂田勝人　廣島
京醫　坂本克巳　山口
水津謙二　山口

京醫　土井憲策　廣島
臺醫　永井幹男　廣島
大醫　鍋島治　廣島
大醫　濱田澄三（望月）　廣島
（東）醫　林良三　廣島
金醫　平井美之　廣島

高橋八洲雄　廣島
高山兵治　滋賀
辰巳博　奈良
川邊和　廣島
遠木幸成　廣島
戸津川良雄　廣島
豐田長正三重
新見芳男　廣島
西原虎夫　愛媛

京理　福本實　廣島
大工　丸尾信雄　兵庫
（東）理　毛利圭太郎　熊本
東工　柳原直彥　兵庫
（京）理　養祖元次郎　廣島
東工　横山政美　廣島
東工　吉田武夫　廣島
九工　吉田弘　福岡
東工　渡邊正紀　廣島

（京）理　高橋實　廣島
東農　辰巳博　奈良
東工　川邊和　廣島
大理　遠木幸成　廣島
（九）工　戸津川良雄　廣島
金醫　豐田長正　三重
（東）工　新見芳男　廣島
（東）工　西原虎夫　愛媛

岡醫　廣渡敬也　福岡
東農　戻前正　大分
（東）醫　藤井昇　廣島
熊醫　藤井浩　熊本
京理　前田靜男　神奈川

（大）工　松本庄平　大阪
（千）醫　三浦正　新潟
（東）醫　村上省三　廣島
京醫　森波勝　兵庫
京醫　山川正雄　新潟

（國）醫　吉岡威　廣島
京醫　吉永正敏　廣島
京醫　芳野泰禮　山口

（第十回）昭和十一年三月十日卒業（一五四名）

文科甲類（六五名）

（東）法　青井彰　廣島
（東）經　安保大藏　廣島
（京）法　伊井智鳳和歌山
（東）法　石井重雄　廣島
（京）法　石塚正光　栃木
（廣文理　井上賢夕　大阪
（東）經　今中加奈夫　廣島

◉卒業生（一一）

東法　梅田正義　廣島
東法　江戸仁之助　香川
東經　大賀一郎　熊本
大理　大澤肇　廣島
京文　大島康正　東京
東法　岡崎政一　和歌山
東法　小川智證　和歌山

東法　奥田朝一　廣島
（京）文　御輿員三　廣島
（廣文理　尾上和夫　德島
東經　小畑一郎　廣島
（東）法　笠原亨二　島根
（東）經　金田健一郎　廣島
（東）經　嘉屋實　山口

東法 河井茂 廣島
(東)法 菅中庸 廣島
(京)經 木村嘉七郎 廣島
(京)經 久保崎靜人 廣島
(東)文 黑田敬友 廣島
(東)文 河埜純孝 廣島
(京)經 齋藤玉夫 廣島
京法 清水浩 廣島
(廣)文理 新谷敏之 廣島
東法 瀨良文夫 廣島
(東)經 曾我部清 愛媛
京法 竹本努 廣島
廣文理 館弘志 岡山
(廣)文理 田中俊彥 廣島
(九)法文 田中滿次 廣島

(東)經 田淵毅 廣島
(京)經 俵千秋 廣島
(東)經 千葉照夫 廣島
(京)法 富田昌壽 熊本
東法 中川惠一 廣島
京經 中柴仲總 山口
東經 中村慶爾 廣島
京經 中村善夫 廣島
廣文理 西本篤武 廣島
(東)文 野間保 廣島
東北法文 野村義茂 山口
東文 花本修 廣島
(東)經 林文二 山口
京法 福田京一 島根
(東)文 藤井玉思 廣島

(京)法 藤井剛 廣島
(東)經 星野幸次 廣島
京文 本城格 三重
(東)經 松田輝人 山口
京法 松原卓三 廣島
東法 宮下宗雄 長野
(東)經 宮武元宣 香川
東法 宮野弘次 廣島
(京)法 村田四郎 大阪
東經 門田岬 廣島
東北法文 安江勝 島根
(東)法 山下卓 廣島
(東)法 山田格男 廣島
東法 吉野良一 廣島

文科乙類（二五名）

京法 伊東守 廣島
東文 入江（那須）誠次 廣島
東法 大田正之 廣島
(東)法 大庭英男 靜岡
東法 小河內孝男 山口
(京)經 梶谷清太 廣島
(東)文 加藤大二 愛知
京法 鎌田正隆 香川
東北法文 岸田悟 廣島

東文 木部崎隆 大阪
京法 向坂太郎 京都
東文 佐々木鴻鄉 宮崎
京法 園田圭祐 兵庫
(東)法 高橋陸郎 愛媛
(東)經 竹田達夫 廣島
(東)法 土井常明 廣島
(東)法 中井正義 大阪
京法 中塚俊郎 香川

(京)法 奈良井浩 廣島
(京)文 長谷川雄一 新潟
死 三川榮 廣島
(京)法 元山清人 廣島
東法 山新繁雄 廣島
(京)法 山本太郎 石川
東法 横濱完二 廣島

理科甲類（三一名）

東工 秋田正彌 東京
(京)工 齋六郎 廣島
(東)農 今田逸三 廣島
東工 大中忠夫 廣島

東工 岡山誠二 廣島
(京)工 角田馨 廣島
岡醫 國原角三 廣島
(京)工 國吉正夫 千葉

東工 熊野順三 廣島
東工 河野一郎 山口
(東)工 後藤典夫 岡山
東工 佐藤史 廣島

◎卒業生（一一）

（東）農　佐伯義夫　廣島
岡醫　篠原敏夫　岡山
（京）理　新宮忠雄　島根
東工　隅出良之　廣島
東工　多幾山隆史　廣島
大工　玉井洋　愛媛
（京）工　寺西弘治　廣島

（京）工　濤崎正德　大分
（東）工　中川勉　廣島
東工　中屋隆夫　山口
京工　長山利治　廣島
（京）工　溫品哲雄　山口
東工　東原五郎　大阪
（京）工　藤田政市　大阪

理科乙類（三三名）

東農　厚正喜　山口
岡醫　有地康太　廣島
岡醫　石田義明　廣島
岡醫　大林省三　廣島
長醫　小田稔　長崎
九醫　龜井幸男　宮城
岡醫　木下博史　廣島
大醫　草野孝二　滋賀

大醫　桑野茂　廣島
幸野博　廣島
小林典章　廣島
近藤眞弘　廣島
菅井正朝　兵庫
杉浦武朗　廣島
高橋晴雄　廣島
武田顯治　廣島

（九）工　美濃利雄　廣島
東工　宮島尙富　山
京工　最上幸夫　山口
（京）工　柳（頓野）美治　和歌山
東工　山下喜正　廣島

岡醫　立神誠二　岡山
京農　立川牧夫　廣島
京農　田中治朗　滋賀
岡醫　玉川保　兵庫
京醫　中鹽清之　廣島
東農　中村健次郎　廣島
（京）工　野間夬之　廣島
大醫　藤田雄二　廣島

岡醫　松田昌雄　廣島
岡醫　松本正典　山口
岡醫　宮地鐵也　廣島

九醫　棟田薰　廣島
京醫　森藤九兵衛　島根
九醫　柳澤義幸　廣島

大醫　山田正實　廣島
東醫　山本寬勝　山口
大醫　脇野渡　廣島

（第十一回）昭和十二年三月十日卒業（一三六名）

文科甲類（四九名）

東文　阿部富士雄　宮城
京法　石光顯吾　兵庫
京法　伊藤壽雄　廣島
神商　稻毛榮　香川
東經　稻田道人　廣島
東經　稻葉喬　京都
東法　井上泰一郎　廣島
伊豫田澤次　廣島
京經　岩本恒雄　廣島

◎卒業生（一二）

東法　胡田勳　廣島
東經　太田七郎　廣島
東法　加藤美喜男　愛媛
門脇格　福井
狩野正明　廣島
久保司郎　千葉
藏田哲行　廣島
笹川富男　大阪
佐々木雄吉　廣島

東法　新川正美　廣島
京法　菅野新太郎　廣島
京經　隅井正治　廣島
京經　高田眞治　廣島
東法　田邊圭次　廣島
京法　玉野貞三　廣島
京經　辻禎三　大阪
東法　寺川榮一　廣島
京法　寺延忠雄　廣島

◎卒業生（一二）

東経	藤村秀雄	山口
京経	藤本千万太	廣島
東法	細川皓	鳥取
東経	堀込廣人	山梨
京農	宮本秀彦	廣島
東文	村井眞澄	香川
東経	百生一孝	香川
東経	森田邦彦	廣島

神商	保田重夫	廣島
九法文	山上善郎	東京
神商	山本英一	廣島
東経	横路恭太郎	廣島
東経	綿田明光	山口
東法	渡邊牧太郎	神奈川

東経	土井健藏	廣島
廣文理	栃木迪明	廣島
京法	中川俊男	東京
東経	伯耆正雄	京都
東法	花田豊	廣島
京法	早川三鈴	三重
東経	林原正直	廣島
神商	平野鴻	廣島

神商	生田壽作	廣島
京文	今村俊一	京都
東文	岩井龍也	福岡
東経	大村茂雄	福井
京経	岡田滋男	東京
東法	岡本元夫	鳥根
東経	長内正	青森

文科乙類（二六名）

東経	大石端	廣島
九法文	勝部元	鳥根
東法	木島源彦	廣島
京法	瀧川慶作	兵庫
東法	中村三郎	廣島
東経	濱島弘夫	廣島
京法	藤岡義治	奈良
廣文理	每熊憲吾	長崎
東文	三宅邦彦	兵庫

東法	世良晃志郎	廣島
京法	瀧川慶作	兵庫
東法	中村三郎	廣島
東経	濱島弘夫	廣島
京法	藤岡義治	奈良
廣文理	每熊憲吾	長崎
東文	三宅邦彦	兵庫

東法	山崎靜夫	廣島
東経	山崎利一	廣島

理科甲類（二九名）

京法	橫地節雄	廣島
東法	吉川和夫	新潟
京工	藤澤征朗	東京
廣文理	古月武夫	廣島
京農	堀向豐明	廣島
東工	水山嘉之	廣島
京理	森島正夫	京都
東工	森信一夫	廣島
大醫	山崎元典	廣島

京工	溪口直廉	廣島
京工	友井重俊	廣島
東工	永岡幹夫	廣島
九工	長竹正道	福岡
京農	畑岡正通	廣島
京工	林登良男	廣島
東工	檜垣登	愛媛
東工	東貞三	山口
東工	福井實信	大阪
九醫	彌島昭	廣島
東農	藤井二	廣島

長醫	赤松和夫	愛媛
京工	井澤潔	東京
京理	石井義仁	德島
東工	上野忠男	廣島
東農	大澤四郎	廣島
京工	岡田九郎	廣島
東工	岡太直	廣島
東農	龜高正夫	兵庫
東工	楠木壽一郎	廣島
東工業	小早川昌平	廣島
京工	角井勉	廣島

◎卒業生（一三）

理科乙類（三二名）

大醫	天野恒久	廣島	九醫
京理	井川昌次郎	廣島	熊醫
大醫	井口壽	廣島	京醫
東醫	大木貞雄	福島	九醫
長醫	大津武	山梨	東醫
京工	大橋章男	京都	大醫
大醫	岡本茂	廣島	九醫
熊醫	木本猛	廣島	長醫
京醫	久保田一行	廣島	京理
死	藏田忠臣	廣島	京醫
名醫	黒川秀次郎	福井	廣文理
九醫	坂谷達郎	廣島	九醫
京理	佐久間正雄	廣島	東北工
大醫	汐崎德藏	廣島	大工
東醫	島筒康夫	廣島	大醫
長醫	高井修道	山口	九醫
東醫	玉垣一郎	廣島	東醫
大醫	玉木琢磨	廣島	岡醫
熊醫	田村良喜	廣島	京醫
京理	土橋正二	和歌山	岡醫
京醫	中川和夫	廣島	東工
名醫	中川正素	廣島	
九醫	中村干城	廣島	
東北工	秦野拓也	廣島	
大工	波多野正雄	山口	
大醫	平原龍雄	廣島	
九醫	細川浩司	廣島	
東醫	松葉卓郎	廣島	
岡醫	光藤葆光	愛媛	
京醫	山崎松巖	廣島	
岡醫	吉原英正	廣島	
東工	渡邊保彥	廣島	

文科甲類（四七名）

東法	磯田敬一郎	島根	東經
京法	井上敏夫	廣島	京法
東法	今田彰夫	廣島	神商
東法	江本祐吉	廣島	東文
京法	大江博	廣島	京法
京經	岡野良定	廣島	東法
東經	沖晃	廣島	京文
東經	尾中悟	山口	京文
東經	河野和彥	廣島	京經
京法	片山文雄	山口	東經
京經	加藤勝重	岐阜	京法
東法	木下光生	廣島	東經
東經	木村健太郎	廣島	京法
東法	木村重利	廣島	京農
東經	久坂晴夫	山口	神商
京法	楠正彬三重		東經
東法	久保素男	廣島	中田實
京經	兒玉實雄	廣島	東法
東經	小森正典	庫兒島	東經
京法	宍戸基男	山口	京經
京文	七條滋	廣島	京經
京文	下迫薫	廣島	京法
京經	下村春夫	廣島	京經
東經	鈴木義正	山形	東法
京法	多川眞二	廣島	廣文理
東經	田口良穗	茨城	京法
東法	垂水寬	香川	東法
京法	都地龍雄	長崎	東經
神商	富田常雄	廣島	
中川優		廣島	
中田實		廣島	
永野嚴雄		廣島	
名黒祥記		廣島	
二井谷敏夫		廣島	
西野龍三郎		德島	
蜷川孝一		愛知	
服部習野		福岡	
土生育三		廣島	
福田孝博		廣島	
藤田俊直		岩手	
堀清三		廣島	
松尾裕淑		山口	

東文 三上泰知 廣島
神商 森田武男 廣島

京經 山下宏 廣島
東經 山本籌三郎 山口

東文 吉田眞三 廣島

文科乙類（二八名）

東經 阿賀謙太郎 香川
今田寛二 廣島
神商 岡本昇 千葉
京法 小田晃之 廣島
東經 小重益生 廣島
東法 大島久忠 廣島
京經 大林太郎 香川
景山春夫 廣島
東法 鹿股德郎 千葉
東法 河原信雄 廣島

京法 上林武男 京都
東經 黑川和直 愛媛
東法 小島幸一 東京
京法 近藤勝義 東京
東經 財滿正博 廣島
東經 土屋孝一 廣島
東經 寺西信美 廣島
東經 中屋則義 山口
東經 橋本金三 廣島
神商 服部元彥 廣島

九法文 原和之 德島
廣文理 正兼未市 山口
東文 宮本端 廣島
東經 向井篤一 廣島
東法 山田克正 廣島
東法 山田敏之 廣島
東法 山本朗 廣島
東法 吉光久 廣島

理科甲類（二九名）

東工 青木榮 山口
東工 有留仁輝 廣島

長醫 井川河洲 廣島
九工 池田寅夫 廣島

京醫 岡武雄 廣島
大工 小川博吉 山口

九醫 太田幸雄 福岡
東工 梶山晃 山口
京工 栗栖義明 廣島
東工 澤原正則 廣島
京理 繁富勉 山口
京農 瀧口壯士 廣島
大工 田窪穰 愛媛
九醫 田尻邦生 佐賀

大工 虎瀨俊郎 兵庫
京工 中近茂 廣島
東工 西龜達夫 廣島
京工 橋本正五 廣島
京工 原信 鳥取
京工 播磨亮 廣島
京工 星島秀美 岡山
東工 三澤正義 廣島

大工 三村統一 岡山
大理 山崎純平 廣島
東工 山內大二 廣島
京工 横田英彥 愛知
吉永隆興 廣島
東工 米原令敏 島根
京工 渡邊茂男 廣島

理科乙類（二一名）

大工 天羽源一 廣島
九醫 安東富雄 山口
大工 市川義篤 廣島
九醫 伊藤良之 廣島
東醫 井上暢 德島
大醫 大町幸雄 廣島
岡醫 兼品苟志 廣島

京醫 金光虎雄 廣島
大醫 島田敏 三重
九醫 管刻一 廣島
東工 田中嗣郎 廣島
京醫 長一策 廣島
東農 辻薦 三重
大工 二井內信司 廣島

東北工 波多野米男 山口
京醫 林弘 廣島
東工 藤本裕 香川
東醫 松本清德 廣島
東工 山本辰次郎 廣島
東醫 吉村克俊 廣島
京醫 和田健 和歌山

（第十三回）昭和十四年三月十日卒業（一三四名）

文科甲類（六一名）

京法	網中正久	大分
東經	池田元苗	廣島
東經	石井次郎	廣島
東法	石原直之	岐阜
京文	井上哲雄	島根
九法	今井一郎	富山
九法	今村和明	福岡
京經	大槻光雄	兵庫
九法	大山廣司	廣島
京法	岡田弘	島根
東經	小國芳壽夫	香川
九法	扇畑壽生	廣島
東北法文	梶山武雄	山口
東經	川瀨哲郎	山口
東法	河村定一	山口
京經	貫名正敎	廣島
京文	河野通博	愛媛
京經	川本德	廣島
神商	國道夫	東京
東法	小島義人	廣島
京法	小谷重男	鳥取
京文	齋藤禎	福井
九法	齋藤洋治	廣島
神商	熊野泰已	廣島
東法	小島義人	廣島
京經	小谷重男	鳥取
京文	齋藤禎	福井
九法	齋藤洋治	廣島
京經	佐々良治	廣島
九法	澤井一男	廣島
京經	大師堂經慰	大阪
神商	高本英望	廣島
京經	谷内直人	鳥取
京經	谷本幸次	廣島
東文	築島堯	廣島
廣文理	津田義夫	廣島
東經	角森斉郎	廣島
廣文理	鳥越晃	山口
京經	中西正人	廣島
京經	中檜健三	廣島
東經	下前陽三	廣島
東法	島谷錬三	廣島
東法	關野直輔	神奈川
神商	關野博	山梨
京經	大師堂經慰	大阪
神商	高本英望	廣島
京經	谷内直人	鳥取
京經	谷本幸次	廣島
東文	築島堯	廣島
廣文理	津田義夫	廣島
東經	角森斉郎	廣島
廣文理	鳥越晃	山口
京經	中西正人	廣島
京經	中檜健三	廣島

文科乙類（二〇名）

京文	中村四明男	京都
京法	弘光壽己	高知
東法	吹野博	廣島
東法	藤井喜通	廣島
京法	古川繁夫	大阪
京法	別所汪太郎	滋賀
東經	寶珠山一輔	福岡
東經	伊賀一人	愛媛
京文	伊室正治	三重
東經	川崎光雄	廣島
熊醫	菊池和夫	廣島
東經	河野通重	山口
東文	椎野正之	東京
東經	城山良彦	廣島
京文	堀向聰明	廣島
京經	正岡博	愛媛
東經	増田賢三	廣島
京文	山道太郎	廣島
東經	脇山武	佐賀
東文	渡邊郁三	兵庫
東經	安田穰	靜岡
京經	山縣登	廣島
京文	山道太郎	廣島
東經	脇山武	佐賀
東文	渡邊郁三	兵庫
東法	向井潔	廣島
京經	萬濃雄二	三重
東法	道丸晴雄	鳥取
東法	光町弘	廣島
東經	世良正利	廣島
京文	曾田紀一郎	愛知
熊醫	田中次郎	廣島
東法	手塚良成	愛知
京法	土井利生	廣島
東經	永井俊一	廣島
京經	原作治	島根
東法	廣永正也	山口
東法	藤井高信	廣島
岡醫	藤岡康恕	廣島
京經	藤野駿平	鹿兒島
東經	松岡正爾	廣島
東法	横山高明	廣島

理科甲類（二七名）

京工　池原茂三重
東農　石原保静岡
　　岩宮久廣島
東農　岡本勇廣島
京理　河野裕行廣島
京工　樫原章雄廣島
京工　金子豊福岡
京農　龜山博高香川
東工　久保原弘廣島

京工　古賀五百里香川
東農　河内譲廣島
　　小林雅章廣島
　　白本尚廣島
京工　助平清麿廣島
京工　鈴紀喜久廣島
京工　末政徹郎廣島
高橋通雄廣島
田中貫之廣島

東理　平賀義彦廣島
京工　船木輝海廣島
東農　藤山虎也山口
京工　松谷健一郎廣島
東工　前原俊夫廣島
京工　滿野圭二愛媛
京工　水戸義明廣島
京工　山田健一三重
山名成雄廣島

理科乙類（二七名）

阪醫　荒谷直文廣島
阪醫　石井淳廣島
九醫　稲村和一廣島
京醫　井上雅文兵庫

阪醫　井上尚基廣島
廣文理　上野義夫廣島
京醫　大石薫廣島
京工　大岡昇廣島

阪工　小野洋次郎廣島
九醫　賀川正陸廣島
阪醫　金田國衛廣島
長醫　岸昌二兵庫

東醫　國政龜雄廣島
京農　桑田晃兵庫
岡醫　齋木一彦廣島
阪工　鈴木靜夫東京
九醫　高木俊一郎熊本

京醫　谷野良之岡山
阪醫　塚口丈夫大阪
中本富士郎廣島
　　永田清廣島
　　成田至青森

　　新見忠雄廣島
阪工　坂東晃兵庫
千醫　富士川五郎廣島
京醫　堀越彰新潟
東醫　前田勝雄福岡

二　卒業生大學進級表（昭和十四年）

種別		文科卒業生			理科卒業生			合計
		甲類	乙類	計	甲類	乙類	計	
東大法學部法律學科		四		四				四
同	政治學科	四		四				四
東大經濟學部經濟學科		四		四				四
同	商業學科	三		三				三
東大文學部國文學科								
同	心理學科	一		一				一
同	教育學科							
東大醫學部醫學科								
同	藥學科							
東大工學部電氣工學科								
同	應用化學科							
東大農學部農藝化學科								
同	林學科		二	二				二
同	水產學科		一	一				一
同	農業經濟學科		四	四				四
同	農學科		二	二				二
東大理學部數學科			一	一				一
京大法學部		六	五	一一	一		一	一二
京大經濟學部		一〇	八	一八				一八
京大文學部史學科								
同	國文學科	一一	五	一六				一六
同	哲學科	三	一	四				四
京大醫學部								
京大工學部機械學科								
同	電氣學科		一	一				一
同	土木學科		二	二				二
同	建築學科							
同	工業北學科							
京大理學部化學科								
京大農學部農業化學科								

種別		文科卒業生			理科卒業生			合計
		甲類	乙類	計	甲類	乙類	計	
東大法學部法律學科		四		四				四
同	政治學科	四		四				四
東大經濟學部經濟學科		四		四				四
同	商業學科	三		三				三
東大文學部國文學科								
同	心理學科	一		一				一
同	教育學科							
東大醫學部醫學科								
同	藥學科							
東大工學部電氣工學科								
同	應用化學科							
東大農學部農藝化學科								
同	林學科		二	二				二
同	水產學科		一	一				一
同	農業經濟學科		四	四				四
同	農學科		二	二				二
東大理學部數學科			一	一				一
京大法學部		六	五	一一	一		一	一二
京大經濟學部		一〇	八	一八				一八
京大文學部史學科								
同	國文學科	一一	五	一六				一六
同	哲學科	三	一	四				四
京大醫學部								
京大工學部機械學科								
同	電氣學科		一	一				一
同	土木學科		二	二				二
同	建築學科							
同	工業北學科							
京大理學部化學科								
京大農學部農業化學科								

同　農學科					一	一
九大醫學部					四	四
九大法文學部法科	三		三			三
同　經濟學科	二		二			二
東北帝大法文學部法學科	一		一			一
大阪帝大醫學部					六	六
大阪帝大工學部機械學科					一	一
同　精密機械學科					一	一
同　應用化學科					一	一
岡山醫科大學		一	一		一	二
熊本醫科大學		二	二			二
長崎醫科大學					一	一
千葉醫科大學					一	一
神戸商業大學	三		三			三
廣島文理科大學國文學科	一		一			一
同　國体學科	一		一			一
同　物理學科					一	一
合計	四九	一八	六七	二一	二六	四七	一一四

三 卒業生學科別人員表

種別	文科 甲類	文科 乙類	文科 計	理科 甲類	理科 乙類	理科 計	合計
昭和二年	六四	三四	九八	二九	二五	五四	一五二
昭和三年	七四	三一	一〇五	三四	三一	六五	一七〇
昭和四年	七三	三七	一一〇	三九	四〇	七九	一八九
昭和五年	七一	三七	一〇八	三四	二六	六〇	一六八
昭和六年	七八	四二	一二〇	三三	三三	六六	一八六
昭和七年	六九	三五	一〇四	三四	三四	六八	一七二
昭和八年	七五	三二	一〇七	三一	三九	七〇	一七七
昭和九年	七八	三三	一一一	四〇	三三	七三	一八四
昭和十年	六二	三一	九三	三〇	三一	六一	一四四
昭和十一年	六五	二五	九〇	三一	三三	六四	一五四
昭和十二年	四九	二六	七五	二九	三二	六一	一三六
昭和十三年	四七	二八	七五	二九	二一	五〇	一二五
昭和十四年	六一	二〇	八一	二七	二七	五四	一三五
計	八六六	四一一	一二七七	四二〇	四〇五	八二五	二一〇二

土地及建物

第八土地及建物

一、敷地

校舍	六、一九一、坪七五	
寄宿舍	四、一八三、〇〇	
運動場	八、八七、六〇〇	（内二十五米プール）
其他	六八六、六三〇	
計	二〇、〇四八、九八〇	
官舍	七六、〇〇〇	(一) 五一〇
合計	二〇、七二四、九八〇	(二) 二〇六

一、建物（用途別）

事務室	一九〇、坪(延)〇〇〇
教室	五七〇、〇〇〇
實驗實習室	四九五、〇〇〇
寄宿舍	一、三四六、二五〇
講堂（玄關付）	一三六、五〇〇
圖書閱覽室	七〇、〇〇〇
生徒控所	八九、〇〇〇
生徒集會所	七〇、〇〇〇
雨天體操場	二一〇、〇〇〇

◎土地及建物

◎土地及建物

柔劍道場	九六、〇〇〇		
銃器庫	四〇、〇〇〇		
宿直室及小使室	二六、〇〇〇		
書庫	五〇、〇〇〇		
御眞影奉安所	一、二五〇		
藥品庫	五、〇〇〇		
危險藥品庫	一、八〇〇		
蓄電池室	一〇、〇〇〇		
硫化水素室	五、〇〇〇		
溫室	一〇、〇〇〇		
消毒室	三、〇〇〇		
自動車車庫	七、〇〇〇		
プール上屋	五、〇五〇		
プール控室	三、〇一五		
渡下廊	一八〇、四〇〇		
物置	六〇、〇〇〇		
便所	一六、〇〇〇		
其他	一三、五七二		
計		二箇所	
官舍	三、六五二、八四七	五箇所	
合計	三、八五三、一五九	玄關、消防器具置場、弓道場	
		木鐵筋鐵骨混凝土造	五、三四四、七九七
		造	三〇八、〇五〇

關係法令索引

第九　關係法令索引

名稱	制定年月日	種別	文部省法令彙纂見出 篇	文部省法令彙纂見出 頁
高等學校令	大七、一二、六	勅令	一三	六〇四
高等學校規程	大八、三、二九	省令	一三	六〇五
高等學校高等科入學資格試驗規程	大八、三、二九	省令	一三	六一七
專門學校入學者檢定規程	大一三、一〇、一二	省令	一三	五六〇
文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄學校入學試驗無効ニ關スル件	明三八、一〇、二八	省令	一七	九四四ノ二
文部省直轄諸學校外國人特別入學規程	明三四、一一、一二	省令	一七	九四四ノ一〇
文部省直轄諸學校官制	明二六、八、二六	勅令	三	六八ノ六
文部省直轄諸學校職員定員令	明三五、三、二八	勅令	三	六八ノ一〇
文部省直轄諸學校長職務規程	大二、六、二三	訓令	三	八ノ一六
高等學校教員規程	大八、三、二九	省令	一七	九三二ノ二
帝國大學官立大學高等師範學校及文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル件	明二六、九、一一	勅令	五	一〇五
高等師範學校又ハ文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ關スル件	大三、六、二〇	勅令	四	八三